ユノトップ オート EC

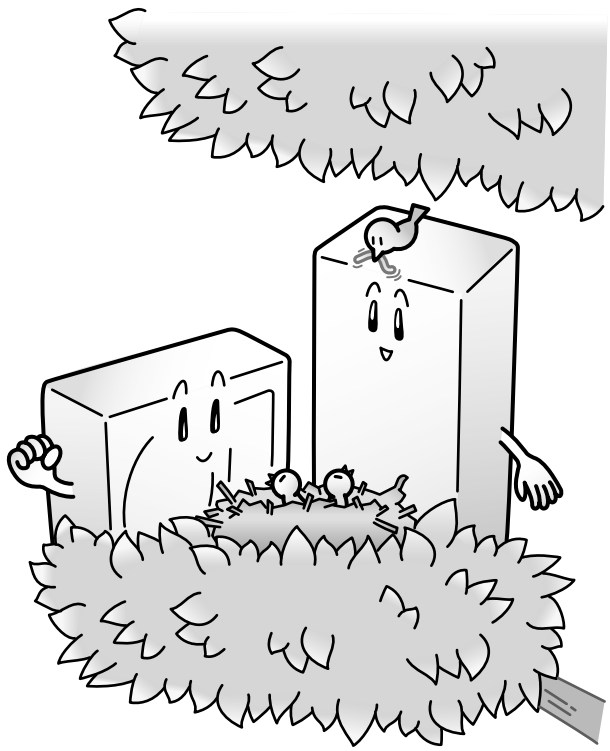
エコキュート
ECO CUTE

取扱説明書

370L・460L1缶式フルオートタイプ

システム型式	SBP-371KMZH
370L1缶式フルオートタイプ（一般地向け）	
貯湯タンクユニット	SB-371KMZH
ヒートポンプユニット	SP-452A
台所リモコン	SP-DRZ1
浴室リモコン	SP-FRZ1

システム型式	SBP-463KMZH
460L1缶式フルオートタイプ（一般地向け）	
貯湯タンクユニット	SB-463KMZH
ヒートポンプユニット	SP-603A
台所リモコン	SP-DRZ1
浴室リモコン	SP-FRZ1



もくじ

はじめに
ご使用前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
製品構成と各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

準備
はじめてご使用になるとき ・・・・・・・・・・・・・・・12
時刻合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

上手にお使いいただくために
電力サービスモードの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・15
運転モードの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
・沸き上げ温度の設定（「深夜のみ」モード時のみ）・・・17
・最低貯湯量の設定（「おまかせ」モード時のみ）・・・・18
お湯がたくさん必要なとき（強制沸増）・・・・・・・・・19
運転モードと使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

給湯とリモコンの使い方
台所・シャワーなどの給湯温度の設定 ・・・・・・・・・22
情報を見る（ナビモード）・・・・・・・・・・・・・・・23
貯湯量表示について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
リモコンの表示を消す（表示消灯）・・・・・・・・・・・27
オプション設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

おふろの使い方
おふろの使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
湯はり量と温度の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・33
ふろ自動運転継続時間の設定 ・・・・・・・・・・・・・34
湯はり予約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
湯はりをする（ふろ自動運転）・・・・・・・・・・・・・37
浴槽の湯温をあげる（追いだき）・・・・・・・・・・・・40
浴槽の湯温をさげる（ふろぬるめ）・・・・・・・・・・・41
浴槽のお湯をふやす（たし湯）・・・・・・・・・・・・・42
台所と通話する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
ふろ配管の洗浄（クリーニング）と排水 ・・・・・・・・45

このようなときは
冬期の凍結予防について ・・・・・・・・・・・・・・・・46
数日間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・48
長期間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・49
非常用取水栓の使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・51
停電したときや断水・水道工事が行われるとき ・・・・・52
定期点検（有料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
お手入れと日常点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・54
故障かなと思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・58
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・64

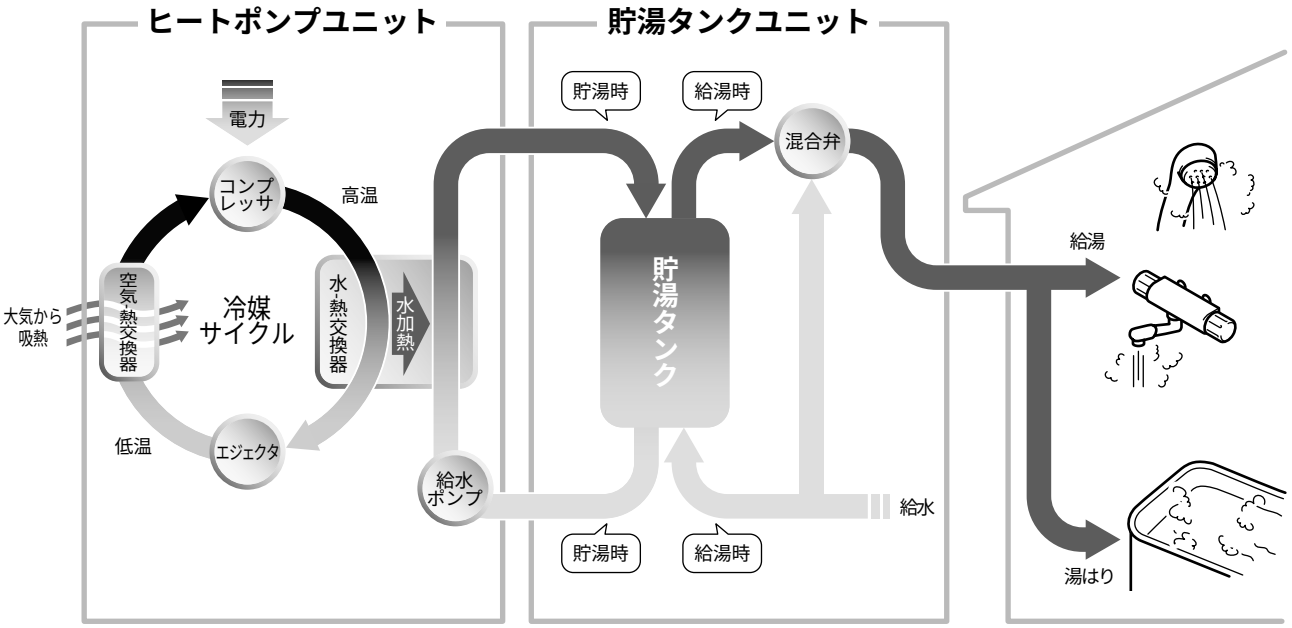
●このたびは、ヒートポンプ式給湯器をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
●この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。そのあとは、必要になったときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。

四変テック株式会社

ご使用前に

ヒートポンプ式給湯器とは

大気から熱を吸収し、その熱でお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯器です。大気から熱を吸収した冷媒をコンプレッサで圧縮して高温にし、水-熱交換器で水に熱を伝えてお湯を沸かします。火を使わずクリーンで、高いエネルギー効率を得られます。しかも、大気の熱を水に伝える役目をする冷媒には、環境に配慮した自然冷媒（CO_2）を使用しています。



この給湯器は、1日に必要なお湯の量を学習し、電気代のお得な深夜にお湯を沸き上げて貯湯タンクに溜め、そのお湯を昼間に給湯やおふろに使用することを基本としています。この給湯器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために電力会社と時間帯別電灯契約を結んでいただく必要があります。

貯湯タンクに溜めたお湯をふだんより多く使った場合には、昼間でも湯切れしないように自動で沸き増しします（「深夜のみ」モードを除く）。また、ご使用になるお湯の量などに合わせて運転モードや最低貯湯量などを設定することもできます。

ご参考

沸き上げ時間の目安：SBP-371KMZH
　夏期：約4時間（水温24℃、沸き上げ温度65℃）
　冬期：約8時間（水温9℃、沸き上げ温度90℃）
沸き上げ時間の目安：SBP-463KMZH
　夏期：約5時間（水温24℃、沸き上げ温度65℃）
　冬期：約8時間（水温9℃、沸き上げ温度90℃）

この給湯器は申請によって、電気料金の割引きが適用されます。
必ず、販売店または電力会社にご相談の上、申請を行ってください。

安全上のご注意①

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

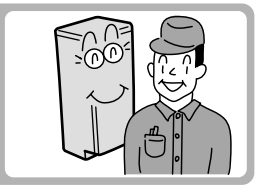
本文中で使われる図記号の意味は次のとおりです。

図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味
	禁止指示に従う		アース工事実施		やけど注意
	指示に従う		分解禁止		

据付時・移設時・修理時のご注意

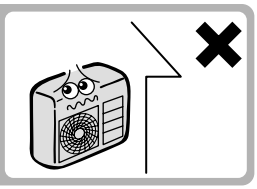
⚠ 警告

●据え付けは販売店または工事店に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



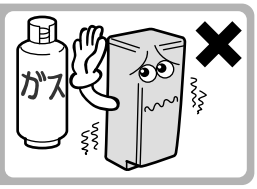
禁止

●ヒートポンプユニットは屋内に設置しない。
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。



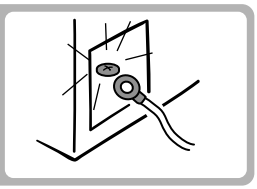
禁止

●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。
発火や火災になることがあります。



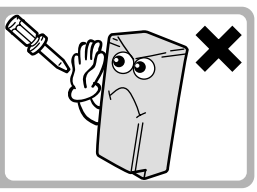
アース工事

●アース工事を確認する。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



禁止

●ご自分での修理・改造や再設置は行わない。
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



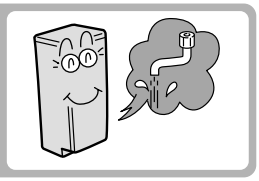
安全上のご注意②

据付時・移設時・修理時のご注意

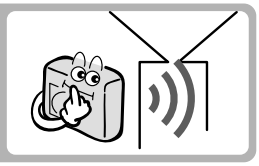
⚠ 注意

上水道

●水道水を使用する。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域ではエコキュートの使用をお避けください。
水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。

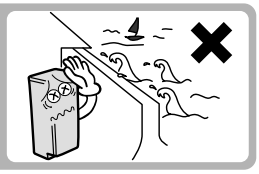


●設置は隣家に配慮した場所を選ぶ。
運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。



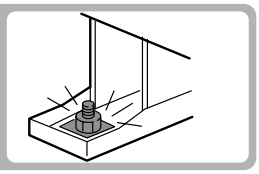
禁止

●塩害地（海浜地区で潮風が直接当たる場所）には設置しない。
機器故障の原因になります。



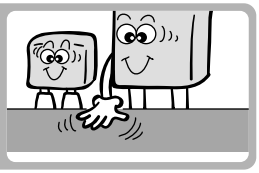
確認

●貯湯タンクユニット脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。
台風や地震のとき、貯湯タンクユニットが倒れてけがをすることがあります。



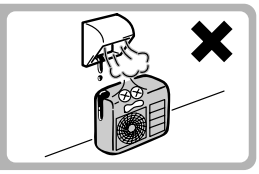
確認

●床面が防水・排水処理されているか確認する。
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



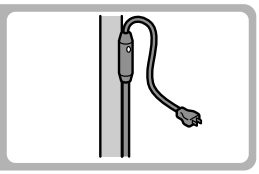
禁止

●キッチンの換気扇の近くには設置しない。
油分の付着や排気により、性能低下や機器故障の原因になります。



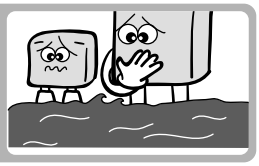
確認

●配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



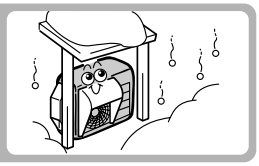
禁止

●冠水するところには設置しない。
冠水すると漏電や感電することがあります。



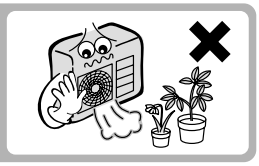
確認

●積雪地域では防雪カバー、屋根などの防雪対策をする。
機器に積雪すると誤作動や故障の原因になります。



禁止

●動植物に直接風が当たる場所に設置しない。
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



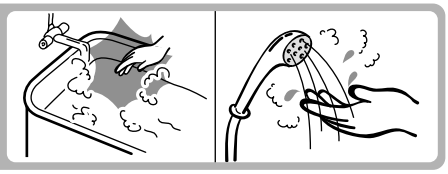
安全上のご注意③

使用時のご注意

⚠ 警告

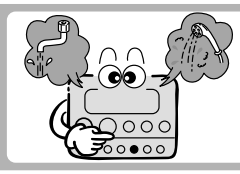
確認

●入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
●お湯を使う前には、湯温を確認する。
やけどをすることがあります。

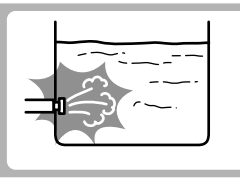


確認

●給湯温度を変更するときは、他の湯水混合栓の使用状況を確認する。
やけどをすることがあります。

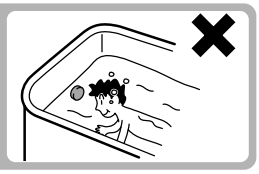


●入浴するときは、浴槽循環口から離れる。
●浴槽にお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない。
やけどをすることがあります。
追いだきをするときや自動保温中または自動運転を終了したときに熱いお湯が出ます。



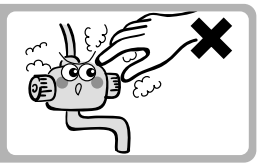
禁止

●子供の入浴に注意する。
浴槽循環口付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。



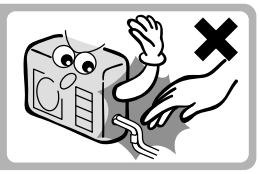
やけど注意

●給湯時は湯水混合栓本体に手を触れない。
やけどをすることがあります。



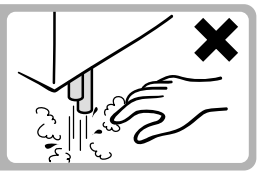
やけど注意

●ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない。
やけどをすることがあります。



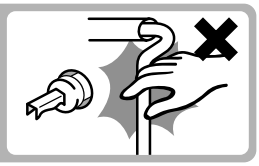
やけど注意

●排水時および取水時にはお湯や排水ホースに手を触れない。
●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。



やけど注意

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

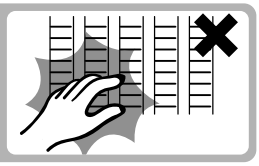


禁止

●近くに可燃性ガスや引火物を置かない。
発火や火災になることがあります。

禁止

●ヒートポンプユニットの熱交換器のフィンには触らない。
フィンでけがをすることがあります。



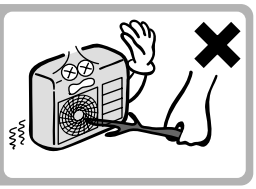
安全上のご注意④

使用時のご注意

⚠警告

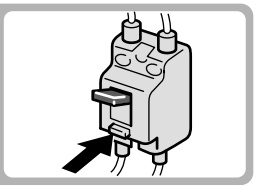
禁止

●ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない。
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。

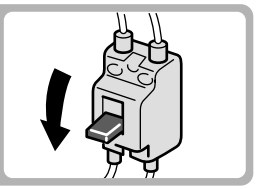


動作確認

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。

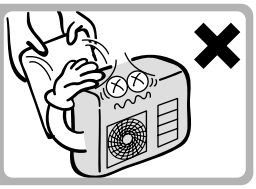


●異常時は漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。



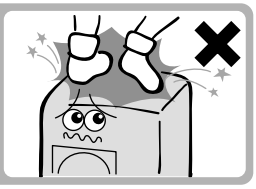
禁止

●取りはずす指定のないカバーは取りはずさない。
高温部によるやけどや感電することがあります。



禁止

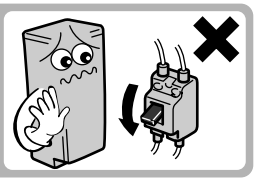
●ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの上に乗ったり、配管に力を加えない。
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。



⚠注意

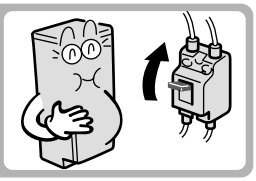
禁止

●電源を「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。



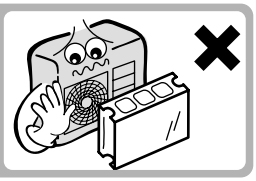
満水確認

●貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

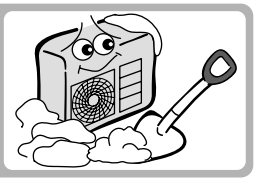


禁止

●ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない。
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。



●積雪時には除雪をする。
ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。



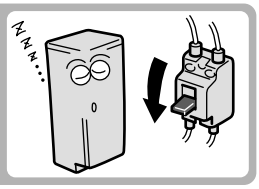
安全上のご注意⑤

使用時のご注意

⚠ 注意

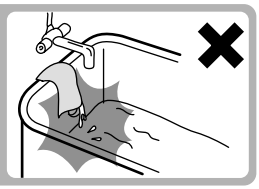
電源確認

●1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする。
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。



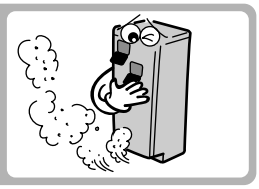
禁止

●浴槽循環口はふさがない。
ふさぐと誤作動や故障の原因になります。



カバーは閉

●貯湯タンクユニットの操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

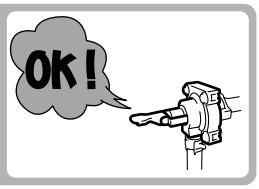


禁止

●硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない。
本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。

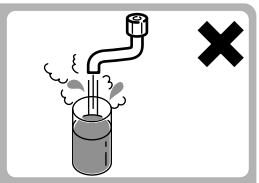
点検

●逃し弁の点検をする。
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



禁止

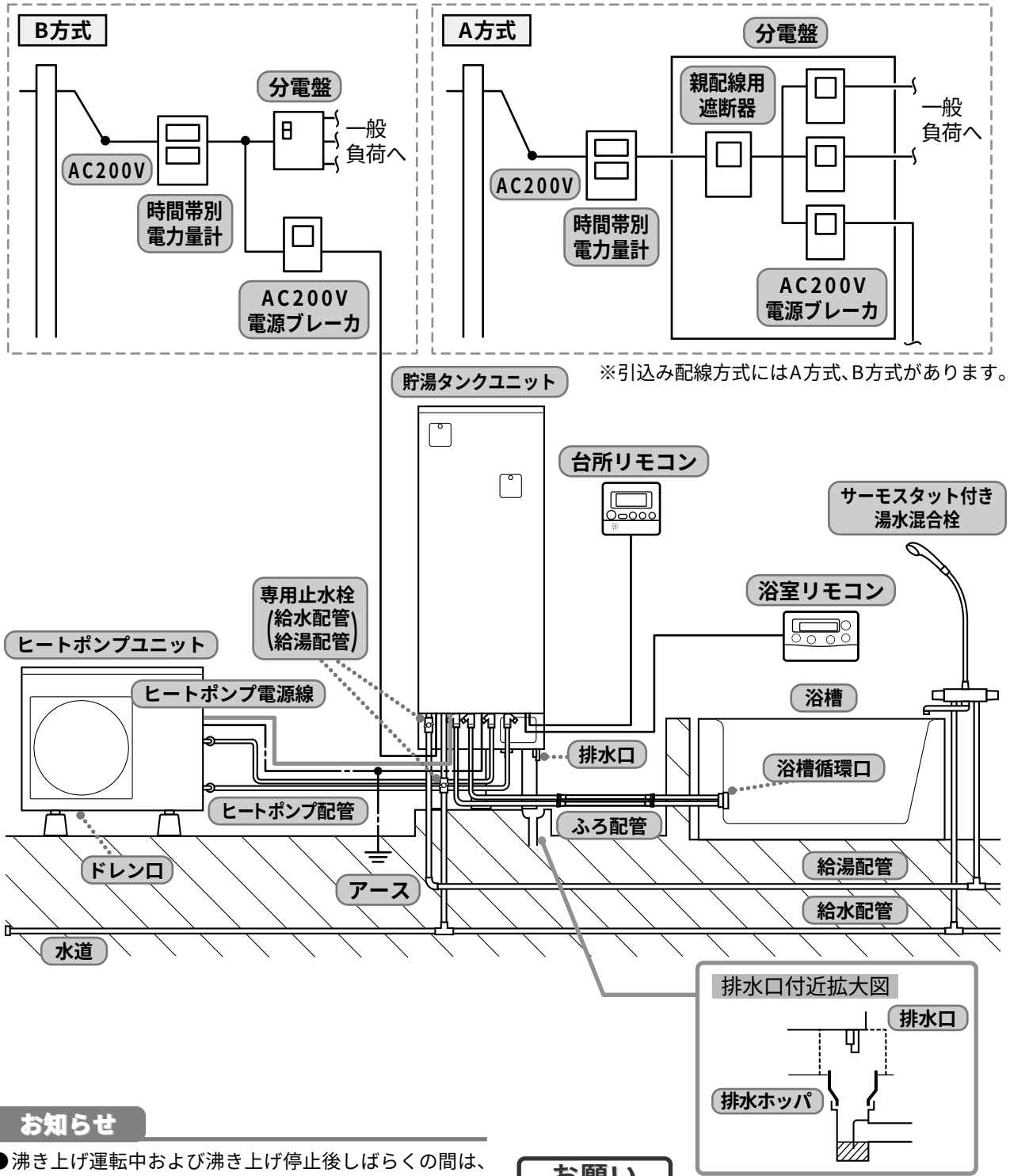
●そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。
・必ず水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



製品構成と各部のなまえ①

製品構成例

（時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約専用）



お知らせ

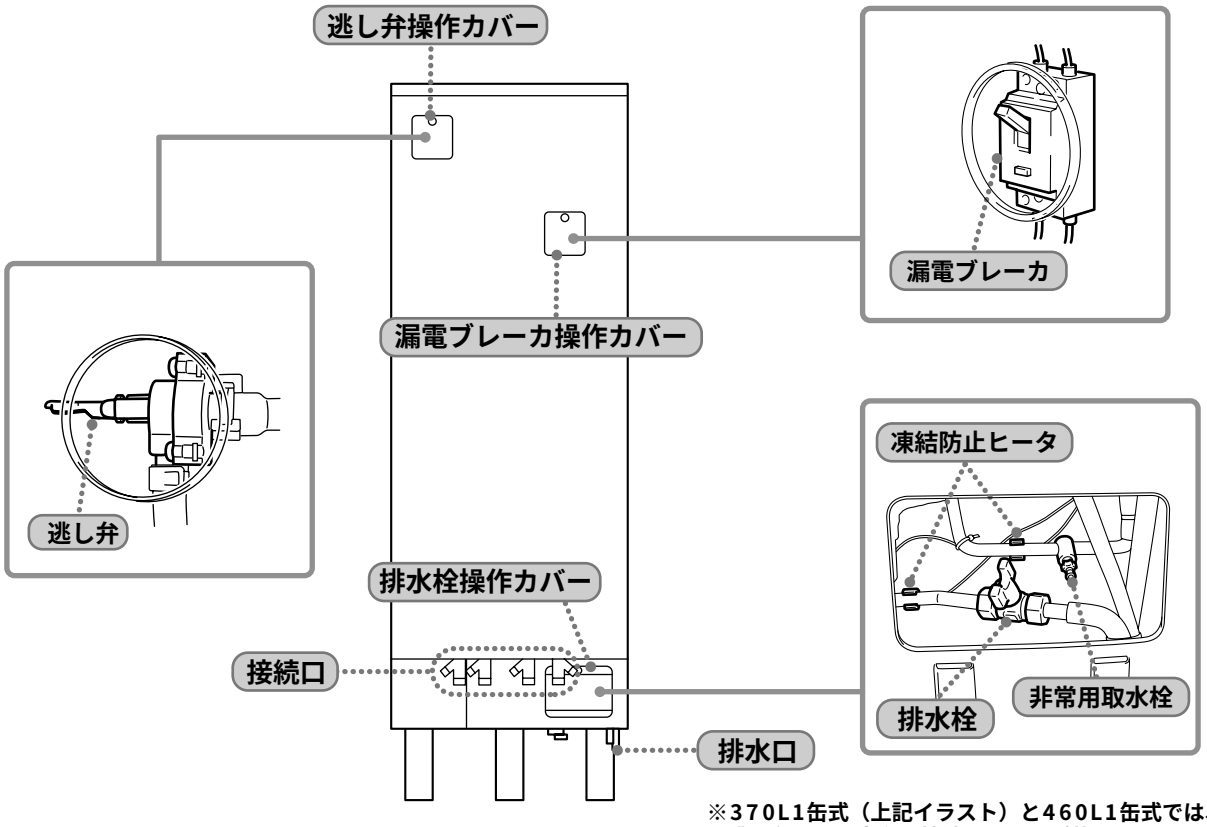
- 沸き上げ運転中および沸き上げ停止後しばらくの間は、ヒートポンプユニット下部のドレン口から結露水が出ます。また、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇したときの膨張分が、貯湯タンクユニットの排水口から出ます。
- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

お願い

- 水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
- 水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない混合栓を使用した場合は、逃し弁よりお湯が排水される場合があります。

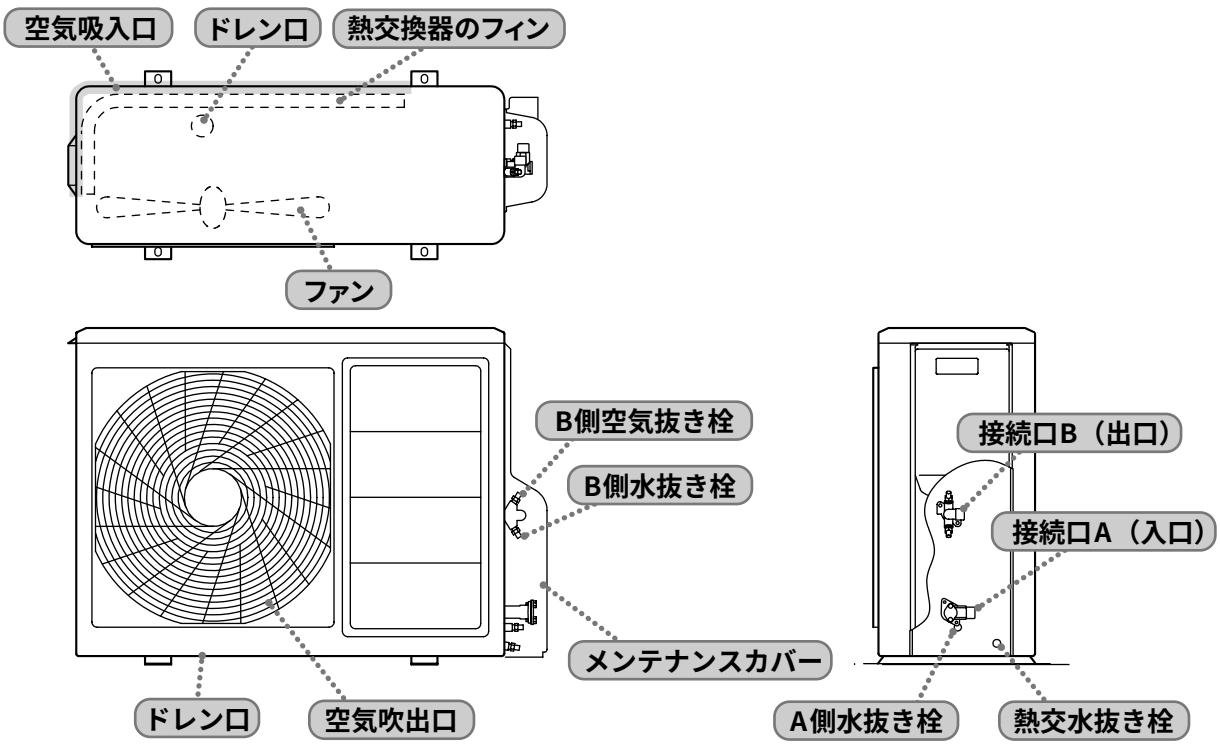
製品構成と各部のなまえ②

貯湯タンクユニット



※370L1缶式（上記イラスト）と460L1缶式では、
逃し弁の取付方向・接続口の配置が若干異なります。

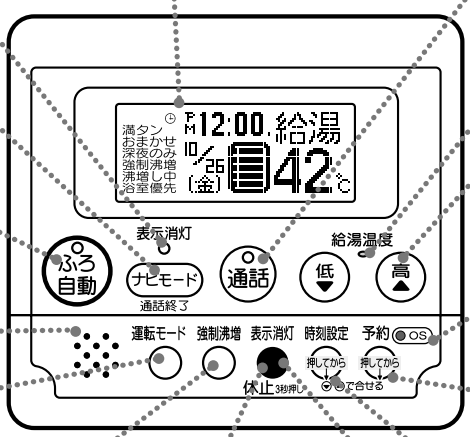
ヒートポンプユニット



製品構成と各部のなまえ③

台所リモコン

表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



表示消灯表示
自動消灯モードのときに点灯します。

表示部
現在の状態などをお知らせします。
（▶▶下図参照）

通話スイッチ
浴室リモコンとの間で通話ができます。なお、リモコンには電話機能はありません。（▶▶43ページ）

ナビモードスイッチ
使用可能湯量、1週間の使用湯量、ふろ保温残り時間などの情報を表示します。（▶▶23ページ）

マイク

給湯温度設定スイッチ
水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。
[35℃～50℃（1℃刻み）/60℃]
（▶▶22ページ）

ふろ自動スイッチ
設定された湯量・湯温で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。
（▶▶37ページ）

OS（オプション）スイッチ
音量、表示輝度などのオプション設定を行います。（▶▶28ページ）

スピーカー

ふろ湯はり予約スイッチ
ふろ自動運転の予約/解除や、ふろ予約時刻設定を行います。
（▶▶35ページ）

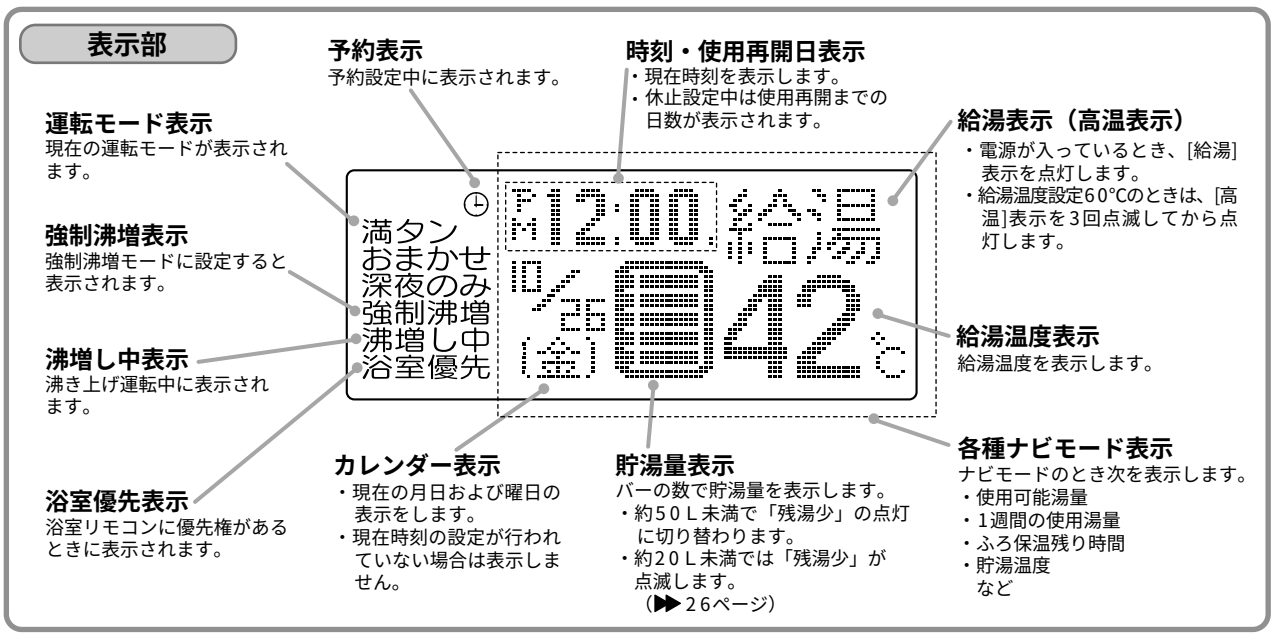
運転モード切替スイッチ
運転モードを設定します。
（「おまかせ」「深夜のみ」「満タン」）
また、沸き上げ温度、最低貯湯量を設定します。
（▶▶16、17、18ページ）

時刻設定スイッチ
時刻を合わせる時に使用します。
（▶▶14ページ）

強制沸増スイッチ
オプション設定で設定された沸増量（50L・100L・満タン）を沸き上げます。（23時になると自動的に解除されます。）
（▶▶19ページ）

表示消灯スイッチ
表示の常時点灯/自動消灯の設定を行います。（▶▶27ページ）

休止スイッチ
数日間お湯を使用しないとき、日数（0～15日間）を指定して沸き上げを停止できます。
（▶▶48ページ）



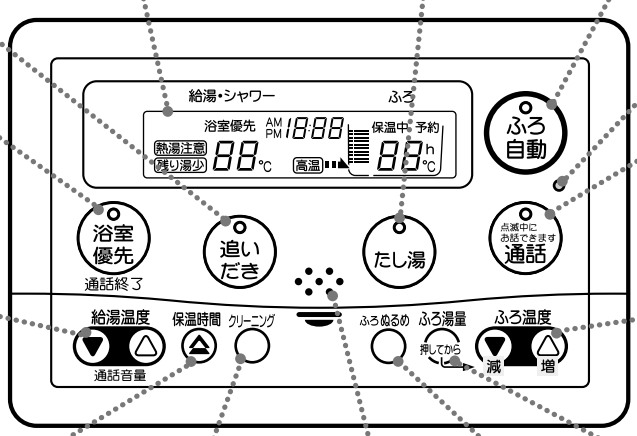
お願い

●台所リモコンに水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ④

浴室リモコン

表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



表示部
現在の状態などをお知らせします。
（▶▶下図参照）

たし湯スイッチ
設定温度のお湯を約20Lたし湯します。
（▶▶42ページ）

ふろ自動スイッチ
設定された湯量・湯温で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。
（▶▶37ページ）

追いだきスイッチ
追いだき運転をして湯温を約2℃上げます。
（▶▶40ページ）

マイク

通話スイッチ
台所リモコンとの間で通話ができます。なお、リモコンには電話機能はありません。
（▶▶43ページ）

浴室優先スイッチ
リモコンの優先権を切り替えます。優先権のないリモコンでは給湯温度の設定はできません。
（▶▶22ページ）

給湯温度設定スイッチ
水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。
[35℃～50℃（1℃刻み）/60℃]
（▶▶22ページ）

ふろ温度設定スイッチ
浴槽の湯はり温度を設定します。
[35℃～48℃（1℃刻み）]
（▶▶33ページ）

保温時間設定スイッチ
ふろ自動運転の継続時間を設定します。（0～6時間）
（▶▶34ページ）

ふろ湯量設定スイッチ
浴槽の湯はり湯量を設定します。
（▶▶33ページ）

クリーニングスイッチ
ふろ配管に水を流し、配管を洗浄します。
（▶▶45ページ）

スピーカー

ふろぬるめスイッチ
さし水をして湯温を約1℃下げます。
（▶▶41ページ）

表示部

浴室優先表示
浴室リモコンに優先権があるときに表示されます。

現在時刻表示
現在時刻を表示します。

湯はり湯量表示
設定された湯はり湯量を表示します。（▶▶33ページ）

保温中表示
ふろ保温中に表示されます。貯湯量が不足するときは点滅します。

予約表示
予約設定中に表示されます。

熱湯注意表示
給湯温度設定が60℃のとき表示されます。

湯はり温度・保温時間表示
湯はり温度を表示します。保温時間設定スイッチを押したときは、ふろ保温時間を表示します。

残り湯少表示
・約50L未満で点灯します。
・約20L未満で点滅します。

給湯温度表示
設定された給湯温度を表示します。

高温表示
追いだき運転のときに表示されます。

矢印表示
湯はり、たし湯、追いだき、ふろぬるめ、クリーニング中に表示されます。

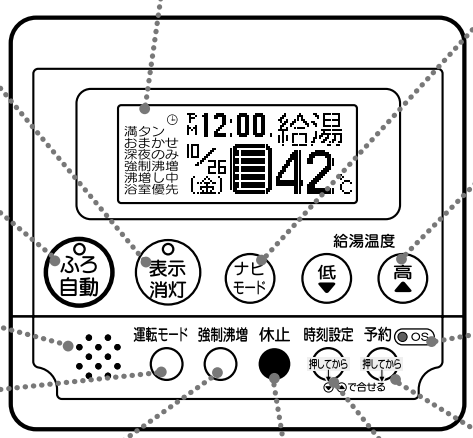
お願い

●**浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。**
故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ⑤

台所リモコン＜増設リモコン＞

表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



表示部
現在の状態などをお知らせします。
（▶▶下図参照）

表示消灯スイッチ
表示の常時点灯/自動消灯の設定を行います。（▶▶27ページ）

ふろ自動スイッチ
設定された湯量・湯温で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。
（▶▶37ページ）

スピーカー

運転モード切替スイッチ
運転モードを設定します。
（「おまかせ」「深夜のみ」「満タン」）
また、沸き上げ温度、最低貯湯量を設定します。
（▶▶16、17、18ページ）

強制沸増スイッチ
オプション設定で設定された沸増量（50L・100L・満タン）を沸き上げます。（23時になると自動的に解除されます。）
（▶▶19ページ）

休止スイッチ
数日間お湯を使用しないとき、日数（0～15日間）を指定して沸き上げを停止できます。
（▶▶48ページ）

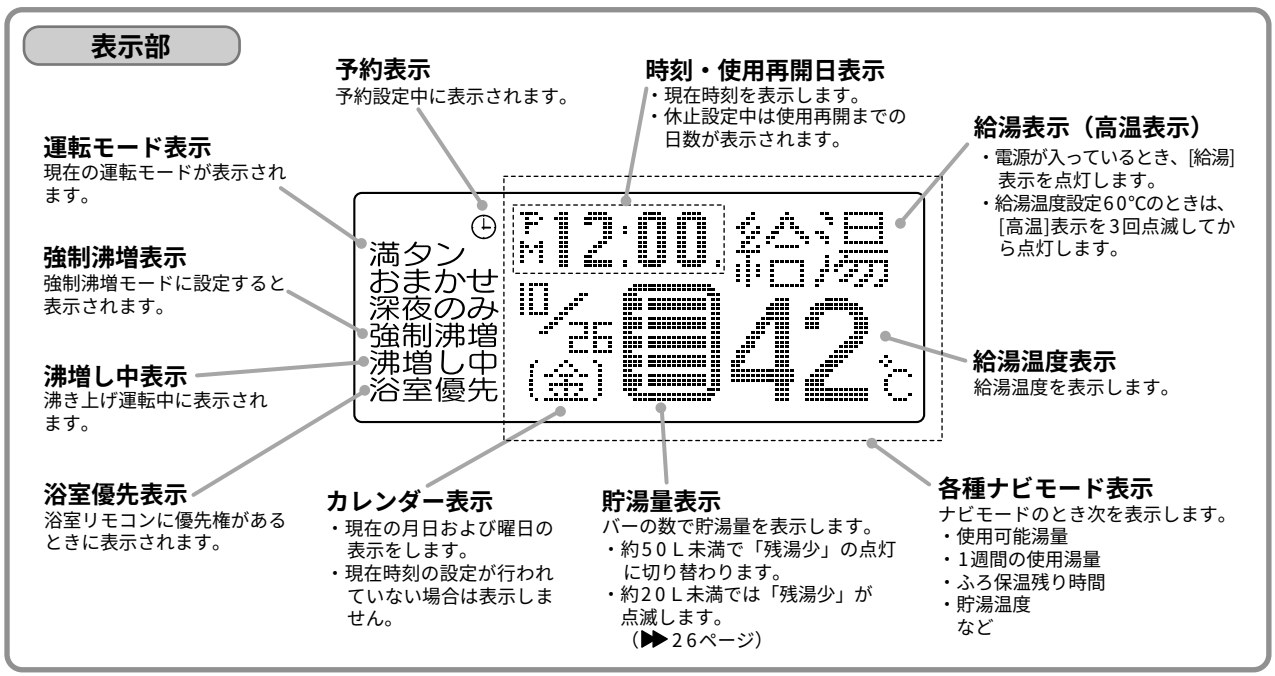
ナビモードスイッチ
使用可能湯量、1週間の使用湯量、ふろ保温残り時間などの情報を表示します。（▶▶23ページ）

給湯温度設定スイッチ
水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。
[35℃～50℃（1℃刻み）/60℃]
（▶▶22ページ）

OS（オプション）スイッチ
音量、表示輝度などのオプション設定を行います。（▶▶28ページ）

ふろ湯はり予約スイッチ
ふろ自動運転の予約/解除や、ふろ予約時刻設定を行います。
（▶▶35ページ）

時刻設定スイッチ
時刻を合わせる時に使用します。
（▶▶14ページ）



表示部

予約表示
予約設定中に表示されます。

時刻・使用再開日表示
・現在時刻を表示します。
・休止設定中は使用再開までの日数が表示されます。

給湯表示（高温表示）
・電源が入っているとき、[給湯]表示を点灯します。
・給湯温度設定60℃のときは、[高温]表示を3回点滅してから点灯します。

運転モード表示
現在の運転モードが表示されます。

強制沸増表示
強制沸増モードに設定すると表示されます。

沸増し中表示
沸き上げ運転中に表示されます。

浴室優先表示
浴室リモコンに優先権があるときに表示されます。

給湯温度表示
給湯温度を表示します。

カレンダー表示
・現在の月日および曜日の表示をします。
・現在時刻の設定が行われていない場合は表示しません。

貯湯量表示
バーの数で貯湯量を表示します。
・約50L未満で「残湯少」の点灯に切り替わります。
・約20L未満では「残湯少」が点滅します。
（▶▶26ページ）

各種ナビモード表示
ナビモードのとき次を表示します。
・使用可能湯量
・1週間の使用湯量
・ふろ保温残り時間
・貯湯温度
など

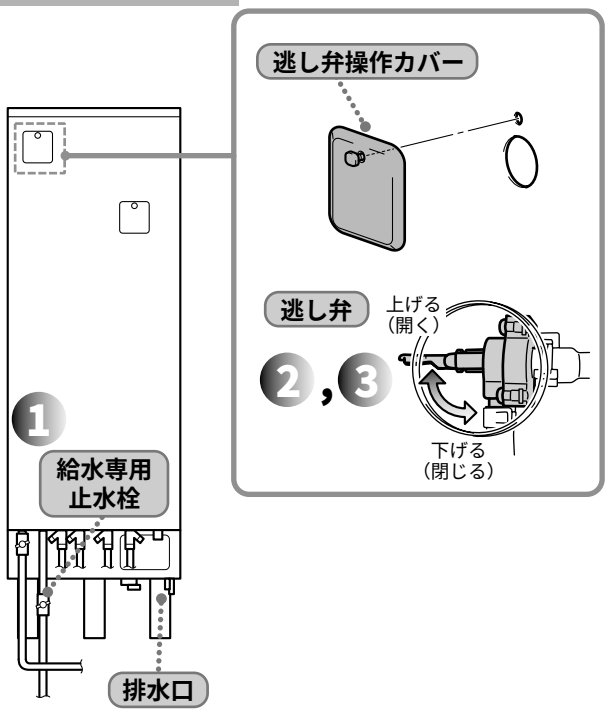
お願い

●台所リモコンに水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

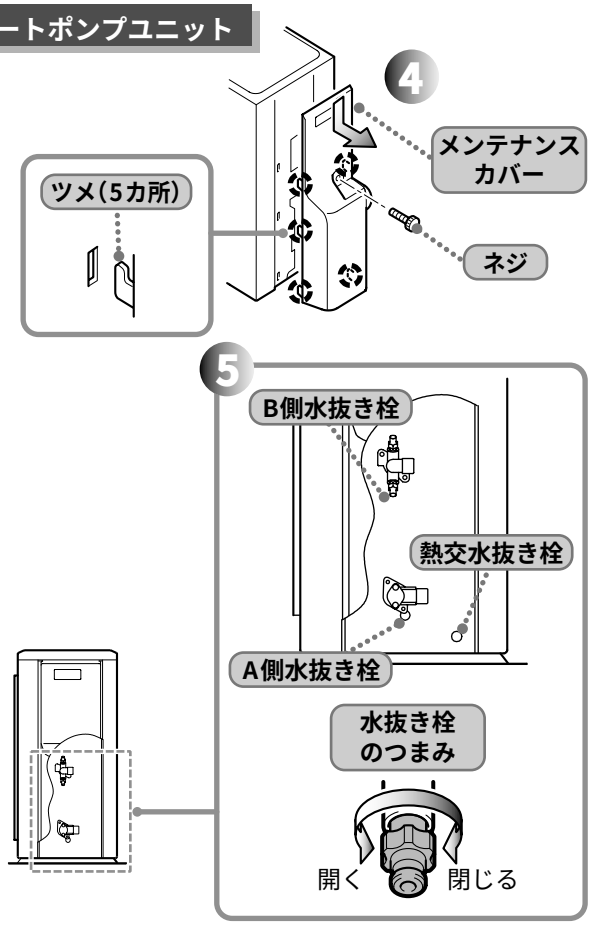
はじめてご使用になるとき①

はじめてご使用になるときには、貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットを満水にし、電源を入れます。また、台所リモコンで、時刻を合わせ、各種設定をしてください。

貯湯タンクユニット



ヒートポンプユニット



⚠注 意

●貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

貯湯タンクユニットを満水にします。

1 給水専用止水栓を開きます。

2 逃し弁のレバーを上げます。

（1）貯湯タンクユニットの逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げ、貯湯タンクユニットに給水します。

●排水口から水が出てきたら満水です。
ただし、給水専用止水栓が開いていて、逃し弁のレバーを上げ排水口からすぐに水が出てきたら、すでに満水状態です。

●空の状態から満水までの目安は約30分です。

3 満水になったら、逃し弁のレバーを閉じます。

（1）貯湯タンクユニットが満水になったら逃し弁のレバーを下げ、逃し弁操作カバーを元どおりに取り付けます。

ヒートポンプユニットに通水します。

4 メンテナンスカバーをはずします。

（1）ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下方へスライドさせ、ツメ（5ヵ所）をはずしてメンテナンスカバーをはずします。

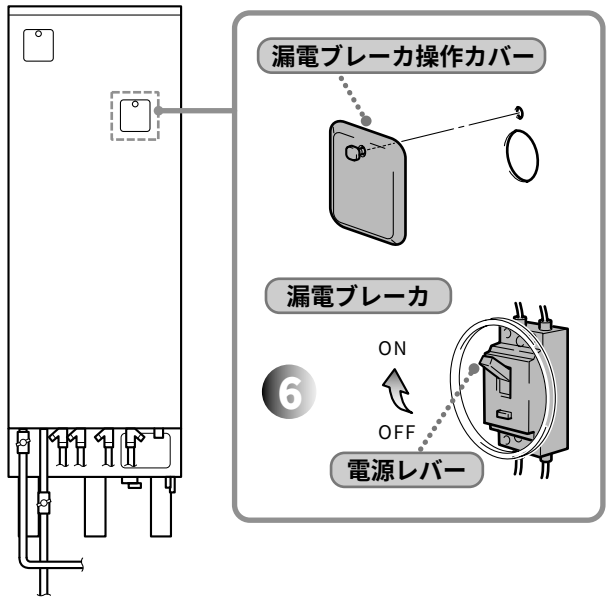
●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがありますので、注意してはずしてください。

5 水抜き栓を開き、エア抜きをします。

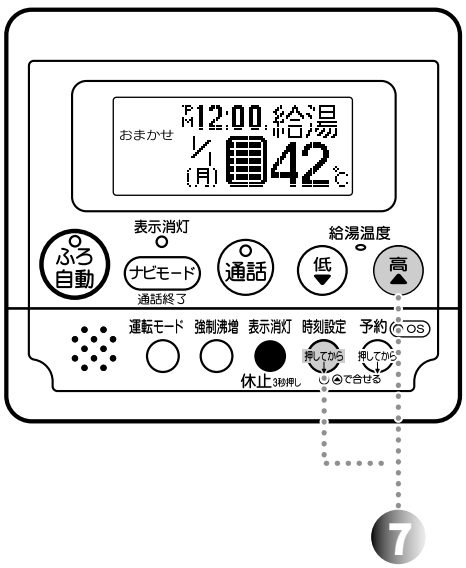
（1）熱交水抜き栓を開きます。2分以上十分にエアが抜けるまで行ってください。
（2）A側およびB側の水抜き栓を開きます。十分なエア抜きを行ってください。
（3）水抜き栓（A側、熱交、B側）を閉じます。
（4）メンテナンスカバーを元どおり取り付けます。

はじめてご使用になるとき②

貯湯タンクユニット



台所リモコン



電源を入れます。

6 漏電ブレーカを「ON」にします。

（1）AC200V電源ブレーカを「入」にします。
（2）貯湯タンクユニットの漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。
（3）漏電ブレーカ操作カバーを元どおり取り付けます。

エア抜き運転をします。

7 時刻設定（押してから）と（高）を同時に5秒以上押します。

●「ヒートポンプエア抜き中」と表示され、ヒートポンプ配管のエア抜きが始まります。
●約20分でエア抜きが自動で終了します。

表示部

ヒートポンプ
エア抜き中

お知らせ

●エア抜き中に、（ナビモード 通話終了）を押すとエア抜きを中止し、通常の表示に戻ります。

時刻合わせをします。

8 時刻合わせをします。

●該当ページを参照して、時刻合わせをしてください。時刻設定が終わりますと、沸増し中を表示し沸き上げ動作に入ります。
●「時刻合わせ」（▶▶ 14ページ）
時刻合わせをすると、ヒートポンプユニットが運転をはじめ、台所リモコンに「沸増し中」と表示します。

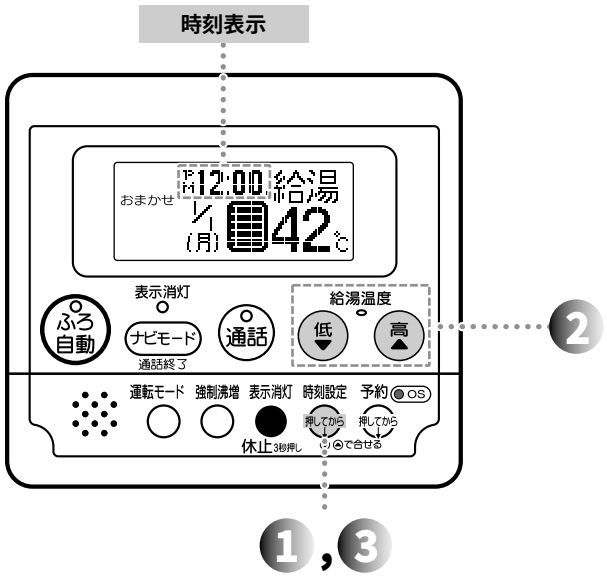
お知らせ

●お使いになるお湯の量や湯切れの備えなどふだんのご使用方法に合わせて設定を選択することができます。
「電力サービスモードの設定」・・・15ページ
「運転モードの設定」・・・・・・・16～18ページ

時刻合わせ

現在時刻と年月日を合わせます。
時刻は12時間表示で、午前は「AM」、午後は「PM」で表示します。

台所リモコン



お知らせ

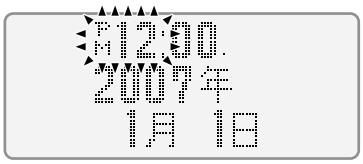
- 設定時刻がずれていたり、午前（AM）・午後（PM）を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。
- 昼の12時は、「PM12：00」で、夜の12時は、「AM12：00」と表示します。
- 時刻の設定中（表示点滅中）に10秒以上スイッチが押されないとそのときの表示時刻・表示年月日で決定します。
- 4時間以上の停電があったときや、長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「－：－－」が点滅しますので、必ず時刻を合わせなおしてください。
  「－：－－」表示のままでは、自動沸き上げを行いません。
- 時刻は、ずれることがあります。
  時々確認をして、時刻を修正してください。

設定モードにします。

1 時刻設定（押してから）を押します。

- 「時」が点滅します。

表示部



時刻と年月日を設定します。

2 給湯温度（低）（高）を押し「時」を合わせます。

- （高）を押すと進みます。
- （低）を押すと戻ります。

（押し続けると連続して替わります）

3 時刻設定（押してから）を押します。

- 「時」が決定し、次の設定項目が点滅します。

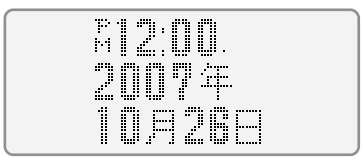
4 手順2,3を繰りかえして、分・年・月・日を合わせます。

決定します。

5 「日」を合わせて時刻設定（押してから）を押したら時刻合わせは完了です。

- 時刻・年月日が決定し、通常の表示に戻ります。浴室リモコンにも設定した時刻が自動的に表示されます。

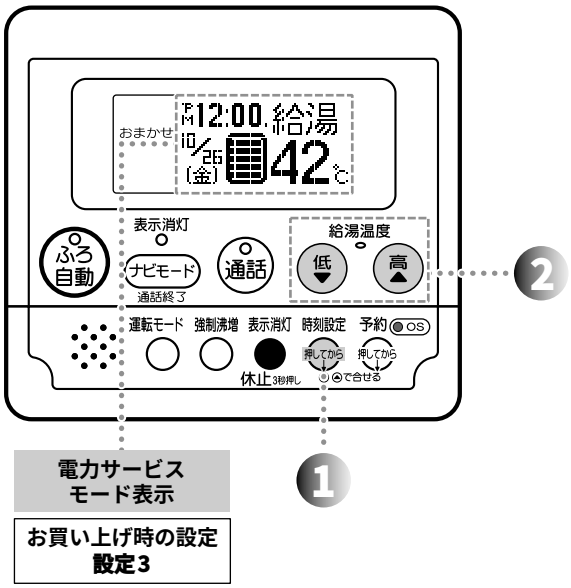
表示部



電力サービスモードの設定

時間帯別電灯契約の種類によって深夜時間帯および安価な時間帯が異なります。
電力料金を抑えるため、ご契約に合う電力サービスモードを選択します。

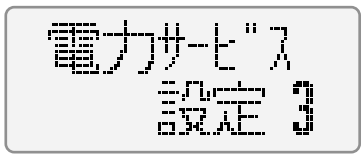
台所リモコン



1 時刻設定 押してから を5秒以上押します。

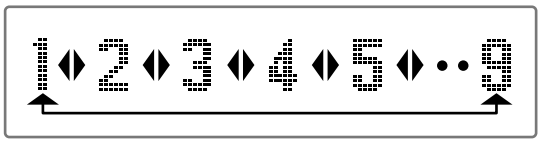
●時刻表示が電力サービスモード表示に切り替わり、現在の設定が点滅します。

表示部



2 給湯温度 低 高 を押し、「電力サービスモード」を切り替えます。

● 高 低 を押すごとに設定が切り替わります。



3 そのまま10秒経過すると、設定完了です。

●点滅している電力サービスモードで設定され、通常表示に戻ります。

電力サービスモードの内容

電力サービスモードの内容は、次のようになっています。地域の電力会社によっては異なりますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。

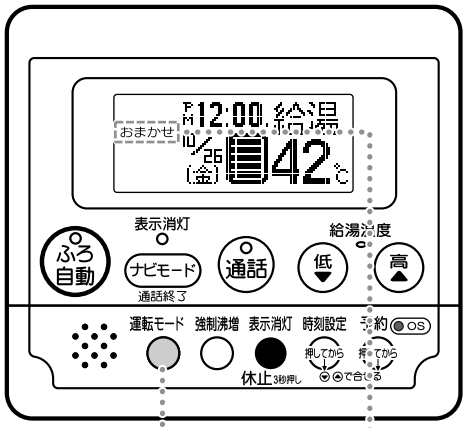
	0時						24時
設定 1	深夜時間帯	7時	昼間時間帯			23時	
設定 2	深夜時間帯	8時	昼間時間帯		22時		24時
設定 3	深夜時間帯	7時	朝晩・リビング	10時 昼間時間帯	17時	朝晩・リビング	23時 24時
設定 4	深夜時間帯	7時	朝晩・リビング	9時 昼間時間帯	17時	朝晩・リビング	23時 24時
設定 5	深夜時間帯	8時	朝晩・リビング	10時 昼間時間帯	17時	朝晩・リビング	23時 24時
設定 6	深夜時間帯	7時	昼間時間帯		16時 18時 ピーク時間	昼間時間帯	23時 24時

※お買い上げ時は「設定3」です。設定7～9は設定3と同じ内容になります。

運転モードの設定

お使いになるお湯の量に合わせて、運転モードを設定することができます。
通常は「おまかせ」モードのご使用をおすすめします。

台所リモコン



1,2

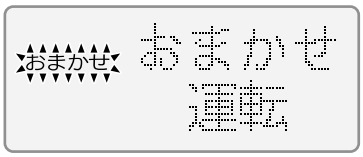
運転モード表示

お買い上げ時の設定
おまかせ

1 運転モード ◯ を押します。

●現在設定されている「運転モード」が点滅します。

表示部



2 運転モード ◯ を押し、運転モードを切り替えます。

●運転モード ◯ を押すごとに「運転モード」が切り替わり、表示が点滅します。

おまかせ ▶ 深夜のみ ▶ 満タン

3 そのまま8秒経過すると設定完了です。

●点滅している運転モードで設定され、通常の表示に戻ります。

お知らせ

●設置日から1週間ほどは、マイコン学習期間のためその後の動作とは一部異なる場合があります。
●「強制沸増」を使用しているときは、運転モードの設定はできません。

運転モードの設定

運転モードの設定内容は、次のようになっています。ご家庭のご使用方法に合わせて設定してください。
通常は、「おまかせ」モードのご使用をおすすめします。詳しくは20ページを参照してください。

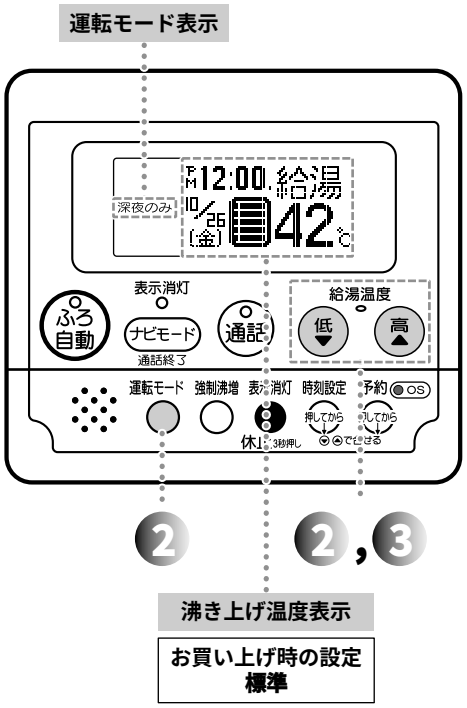
表 示	設 定 内 容
満タン	いつでもたくさんお湯を使いたい場合の設定です。 深夜電力で満タンに沸き上げ、昼間でもお湯が約250L※1を下回ると満タンになるよう沸き増しをします。 ※「満タン」に設定して1週間たつと、自動で「おまかせ」モードになります。 ※貯湯量表示がバー4本以下でも貯湯タンク内の温度によっては沸き増しをしない場合があります。
おまかせ	季節や過去1週間のお湯の使用量をもとに深夜電力で最適な温度(学習値)で貯湯する設定です。昼間でも湯切れをしないよう必要に応じて自動で沸き増しします。 ●湯切れにそなえて最低でも残したいお湯の量(最低貯湯量)を設定できます。(▶▶18ページ) ※昼間は1日当りの使用量がタンク容量以下の場合は最低貯湯量を下回ると、約50L沸き増しします。1日当りの使用量がタンク容量以上の場合は貯湯量が約200Lを下回ると、必要湯量まで沸き増しします。また、夕方の時点で、必要湯量（学習値）と貯湯量を比較し不足がある場合は必要湯量まで沸き増しします。
深夜のみ	電気代の安い深夜電力で沸き上げる節約設定です。 ●1日に使用するお湯の量に合わせて沸き上げ温度を設定できます。(▶▶17ページ) ※昼間はお湯が少なくなっても自動で沸き増しを行いません。 「強制沸増」で手動で沸き増しをすることができます。（▶▶19ページ）

※1 SBP-371KMZHの場合、約250L。
SBP-463KMZHの場合、約300L。

沸き上げ温度の設定（「深夜のみ」モード時のみ）

「深夜のみ」モードの時、お使いになるお湯の量に合わせて、沸き上げ温度を設定することができます。

台所リモコン



お知らせ

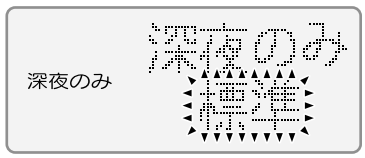
●運転モードが「おまかせ」「満タン」モードのときは沸き上げ温度を設定することはできません。

1 運転モードが「深夜のみ」であることを確認します。

2 運転モード ○ を押し、「深夜のみ」が点滅したらすぐに 給湯温度 低 高 を同時に3秒以上押します。

●設定表示に切り替わります。

表示部



3 給湯温度 低 高 を押し、沸き上げ温度を選択します。

●設定が切り替わり点滅します。

標準 ⇔ 控えめ ⇔ 湯多め

4 そのまま5秒経過すると設定完了です。

●点滅している沸き上げ温度で設定され、通常の表示に戻ります。

沸き上げ温度の設定

「深夜のみ」モード時の沸き上げ温度（※）の設定内容は、次のようになっています。１日にお使いになるお湯の量に合わせて設定してください。詳しくは20ページを参照してください。

※沸き上げ温度は高いほど、使えるお湯の量は多くなります。

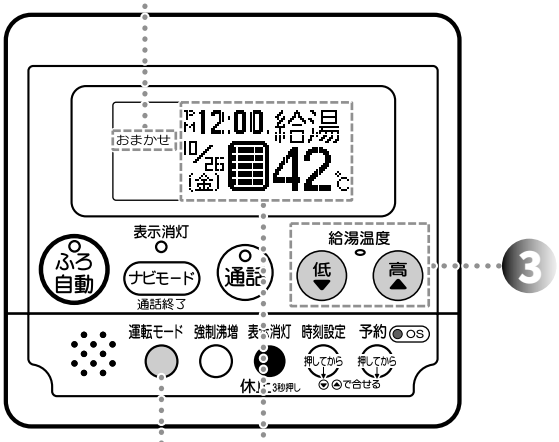
運転モード	表　示	設　定　内　容
深夜のみ	湯多め	たくさんお湯を使う場合の設定です。 ※季節などに応じて、約70～90℃の高めの温度で沸き上げます。
	標準	季節や過去1週間のお湯の使用量をもとに最適な温度で貯湯します。 ※約65～90℃で最適な沸き上げ温度を計算し沸き上げます。
	控えめ	お湯の使用量が少なめで、余分な沸き上げを抑えたい場合の設定です。 ※約65℃で沸き上げます。

最低貯湯量の設定（「おまかせ」モード時のみ）

「おまかせ」モードのとき、湯切れしないように貯湯タンクに最低でも残したいお湯の量＝最低貯湯量を設定することができます。

台所リモコン

運転モード表示



2 , 4

最低貯湯量表示

お買い上げ時の設定
湯量中
設定できる最低貯湯量
湯量多め・湯量中・湯量少なめ・湯量控えめ

お知らせ

●運転モードが「深夜のみ」「満タン」モードのときは最低貯湯量の設定はできません。

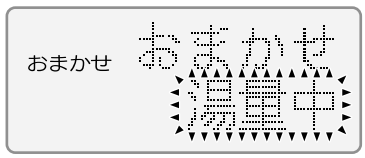
設定モードの設定

1 運転モードが「おまかせ」であることを確認します。

2 運転モード ○ を5秒以上押します。

●設定表示に切り替わります。

表示部



3 給湯温度 低 高 を押し、最低貯湯量を選択します。

●設定が切り替わり点滅します。

湯量中 ⇔ 湯量少なめ ⇔ 湯量控えめ ⇔ 湯量多め

4 運転モード ○ を押すと、設定完了です。

●スイッチが5秒以上押されないときは、点滅している最低貯湯量で設定され、通常の表示に戻ります。

最低貯湯量の設定

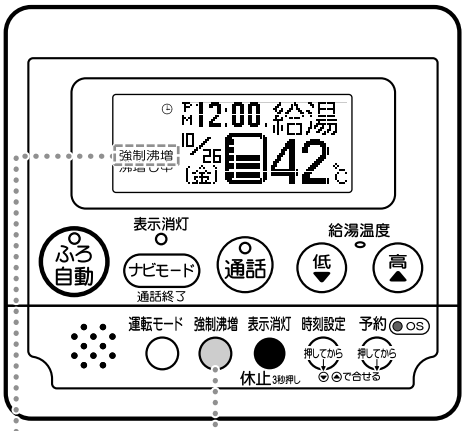
「おまかせ」モードのとき、日ごとのお湯の使用量の変動に合わせて最低貯湯量を設定することができます。ご使用方法に合わせて設定してください。詳しくは20ページを参照してください。

運転モード	表　示	設　定　内　容
おまかせ	湯量多め	湯切れをしないよう多めにお湯を確保する設定です。 ※貯湯量が約150Lをきると沸き増しします。昼間の沸き増しが多くなり、電気料金が高めになることがあります。
	湯量中	使用湯量の変動に合わせてお湯を確保する設定です。 ※貯湯量が約50L～約150Lをきると沸き増しします。
	湯量少なめ	毎日決まったお湯の使い方をする場合の設定です。 ※貯湯量が約50Lをきると沸き増しします。昼間の沸き増しを抑えて電気料金を節約しますが、使用湯量の変動があると湯切れをする場合があります。
	湯量控えめ	沸き増しを極力抑えて効率よくお湯を使用する設定です。 ※貯湯量がほとんどなくなったら沸き増しします。効率がよい反面、お湯の使い方が変動すると湯切れする場合があります。

お湯がたくさん必要なとき（強制沸増）

来客などでたくさんお湯が必要なときは、「強制沸増」を使用して貯湯タンクのお湯を沸き増しします。

台所リモコン



強制沸増表示

お買い上げ時の設定
満タン
設定できる沸増量
50L・100L・満タン

1, 2

1 強制沸増 ◯ を押します。

●強制沸増モードになり、「強制沸増」表示が点灯し、沸き上げを行います。

強制沸増を途中でやめるとき

2 強制沸増中に 強制沸増 ◯ を押します。

●「強制沸増」の表示が消え、強制沸増モードを解除します。

お知らせ

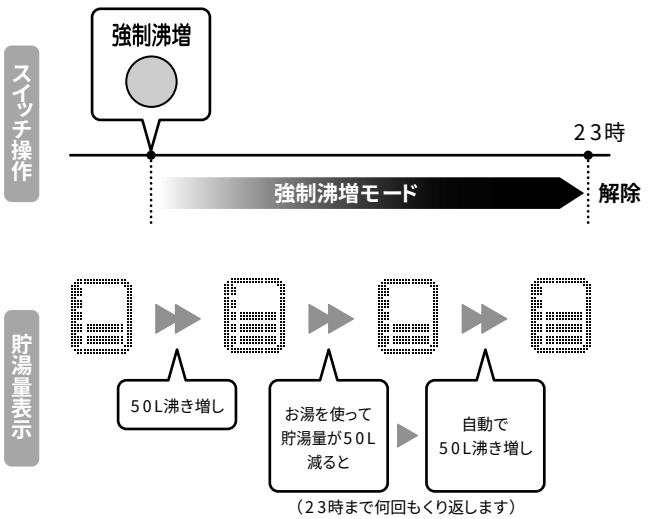
- 強制沸増量は、オプション設定で、「50L」、「100L」、「満タン」から選択できます。（▶▶ 28ページ）
- 「強制沸増」を使用すると、昼間電力で沸き上げを行うため電力料金は割高になります。
- 「強制沸増」を使用しているときは、運転モードの設定はできません。

強制沸増の動作

- 強制沸増 ◯ を押すと、強制沸増モードになり設定した沸増量を沸き増しします。
  ※強制沸増モード中は、「強制沸増」表示が点灯します。
- 給湯などでお湯を使用し、強制沸増 ◯ を押したときの動作は以下となります。
  - 強制沸増量設定が「50L」、「100L」の場合は強制沸増 ◯ を押したときの貯湯量まで減ると再び設定した沸増量を自動で沸き増しします。
    ※ただし貯湯量表示がバー5本の場合は、沸き増しを行いません。
  - 強制沸増量設定が「満タン」の場合は貯湯量表示がバー5本から4本に減ると、自動で沸き増しします。
    ※貯湯量表示がバー4本以下でも貯湯タンク内の温度によっては沸き増しをしない場合があります。
- 強制沸増モードは、再度強制沸増 ◯ を押すか23時になると解除されます。

動作例

※沸増量を「50L」（バー約1本）に設定しているとき



運転モードと使い方①

お使いになるお湯の量や湯切れへの備えなどふだんのご使用方法に合わせて、「運転モード」や「沸き上げ温度」、「最低貯湯量」を選択することができます。通常は、「おまかせ」モードのご使用をおすすめします。

この給湯器は、貯湯式の給湯器で、1日に必要なお湯（※1）を安価な深夜電力で「沸き上げ」を行い貯湯タンクに溜めておき、給湯や湯はりに使用します。多量にお湯を使用した場合などお湯が足りなくなる（※2）と昼間時間帯でも自動で（※3）「沸き増し」を行いお湯を追加します。
ご家庭のご使用方法に合わせて設定いただき、上手にお使いください。

※1 季節や過去1週間のお湯の使用量をもとに計算します。
※2 貯湯タンクに最低でも残したい湯量を最低貯湯量といい、これを下回ると沸き増しを行います。
※3「深夜のみ」モードの場合、自動で沸き増しは行いません。「強制沸増」を行ってください。

運転モード設定

満タン

いつでもたくさんのお湯を使いたい場合の設定です。深夜電力で満タンに沸き上げ、昼間でも満タンになるよう沸き増しします。

深夜の沸き上げ	昼間・夜間の沸き増し
季節などに応じて約70～90℃の高めの温度で沸き上げるので、お湯をたくさん使えます。	貯湯量表示でおよそバー1本分お湯を使用すると満タンまで沸き増しします。

※「満タン」に設定して1週間たつと、自動で「おまかせ」モードになります。

おまかせ

季節や過去1週間のお湯の使用量をもとに最適な温度で貯湯する設定です。昼間でも湯切れしないよう必要に応じて自動で沸き増しをします。
※湯切れにそなえて最低でも残したいお湯の量（最低貯湯量）を設定できます。

深夜の沸き上げ	昼間・夜間の沸き増し
お湯の使用量に合わせて最適な沸き上げ温度（約65℃～90℃）を計算して沸き上げます。	【最低貯湯量設定】 「湯量多め」 湯切れをしないよう、多めにお湯を確保する設定です。 「湯量中」 「湯量少なめ」 「湯量控えめ」 沸き増しを極力抑えて効率よくお湯を使用する設定です。 ※湯切れの心配が増えます。

深夜のみ

電気代の安い深夜電力で沸き上げ、1日に必要なお湯をまかなう節約設定です。
※1日に使用するお湯の量に合わせて沸き上げ温度を設定できます。

深夜の沸き上げ	昼間・夜間の沸き増し
【沸き上げ温度設定】 「湯多め」…… たくさんお湯を使う場合の設定です。高めの温度で沸き上げます 「標準」 夏場など気温が高いと、やや低めの温度で沸き上げます 「控えめ」…… お湯の使用量が少なめで、余分な沸き上げを抑えたい場合の設定です。（低めの温度で沸き上げます）	自動で沸き増ししません。 ※「強制沸増」で沸き増しすることができます。

強制沸増

お湯が不足しそうになったとき、手動で沸き増しを行います。

□ は、お買い上げ時の設定を示します。

運転モードと使い方②

沸き上げ温度と使用できるお湯の量

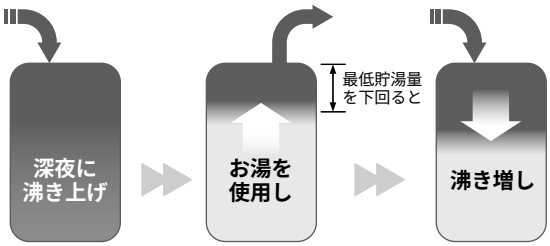
この給湯器は、貯湯式の給湯器で、1日に必要なお湯の量を安価な深夜電力で「沸き上げ」を行い貯湯タンクに溜め、昼間に使用します。貯湯タンクの容量が一定のため、沸き上げ温度を変えることで使用できるお湯の量が変わります。

高い温度で沸き上げることで使えるお湯の量は多くなります。逆に、使用するお湯の量が少なければ、低めの温度で沸き上げ、無駄をなくすことができます。

最低貯湯量と沸き増し

いつもより多量にお湯を使用すると深夜に沸き上げた分では足りなくなる場合があります。このとき、湯切れをしないよう貯湯タンク内のお湯の量がある量を下回ると昼間時間帯でも自動で「沸き増し」を行いお湯を追加貯湯します。このときの量を「最低貯湯量」といいます。

最低貯湯量が多めのときは湯切れの心配は減りますが、昼間の沸き増しが増え電気料金が高めになります。逆に、少なめのときは余分な沸き増しを抑え経済的ですが、湯切れの心配が増えます。



※「深夜のみ」モードの場合、深夜時間帯以外は自動で沸き増しを行いません。
お湯が不足しそうになったときは、手動で強制沸増ができます。

沸き増し温度と貯湯温度についてのお知らせ

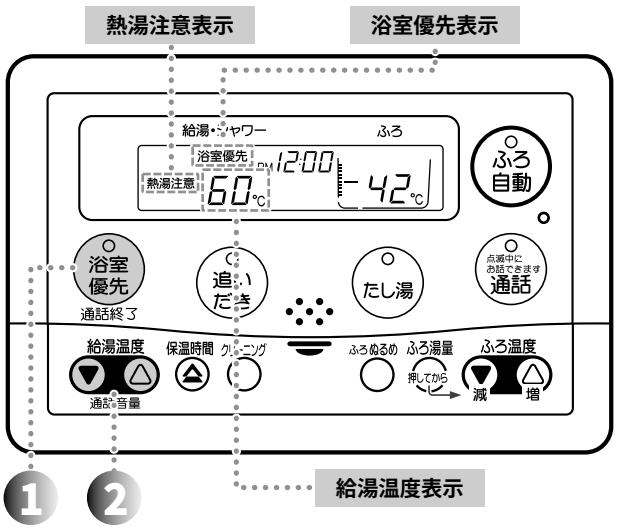
●配管による温度低下について
沸き増し温度はヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。
貯湯タンクユニットに溜まるお湯の温度は途中の配管の放熱ロスにより、設定した沸き増し温度より低くなります。
（外気温度・配管条件にもよりますが、設定した沸き増し温度より5℃前後低い温度で貯湯タンクユニットに溜まります。）

●時間経過による温度低下について
貯湯タンクユニット内のお湯の温度は、時間の経過と共に放熱により低下します。
（外気温度・風の影響にもよりますが、朝から夕方（半日）までの間に約5℃～10℃程度低下します。）

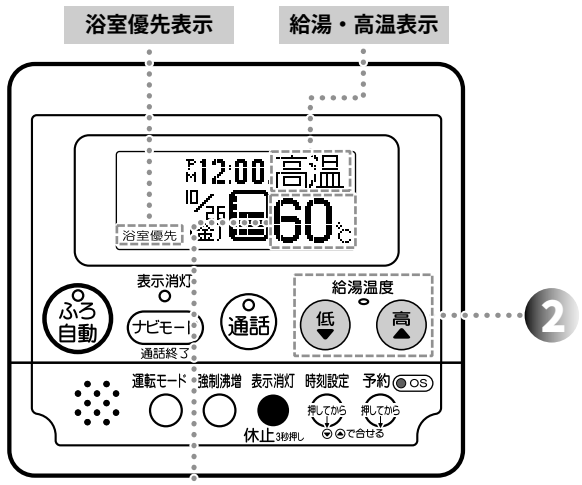
台所・シャワーなどの給湯温度の設定

台所・洗面所・シャワーなどの給湯温度をお好みの温度に設定します。
台所リモコン・浴室リモコンのどちらからでも設定を行うことができます。

浴室リモコン



台所リモコン



お買い上げ時の設定
42℃　優先権は台所リモコン
設定できる範囲
35℃～50℃(1℃刻み)／60℃

⚠警告

- **給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する。**
  やけどをすることがあります。
- **お湯を使う前には湯温を確認する。**
  やけどをすることがあります。

＜浴室リモコン＞

1 浴室優先 を押して、操作するリモコンに優先権を与えます。

- 台所リモコン側で「浴室優先に変更されました」と音声で案内します。
  浴室リモコン側では音声で案内しません。

浴室リモコン表示		台所リモコン表示		温度設定
＜点灯＞ 浴室優先	＜点灯＞	＜点灯＞	浴室優先	浴室リモコンで設定できます。
＜消灯＞ 浴室優先	＜消灯＞	＜消灯＞		台所リモコンで設定できます。

2 給湯温度 低 高 を押し、温度を設定します。

- 高 を押すと給湯温度が高くなります。
- 低 を押すと給湯温度が低くなります。
- スイッチを押してから約2秒後、台所リモコン側で「給湯温度が変更されました」と音声で案内します。
  浴室リモコン側では音声で案内しません。

3 湯水混合栓を開けば、お湯が出ます。

お知らせ

- 優先権のないリモコンで操作した場合は、警告音が鳴り、操作は受け付けません。
- 給湯温度を60℃に設定すると、次の様にリモコン側でお知らせします。
  浴室リモコン……警告音とともに「熱湯注意」表示
  台所リモコン……「あついお湯がでます」音声案内とともに「高温」表示
- サーモスタット付き湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を、使用される温度より約10℃高く設定されることをおすすめします。
- 給湯温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの温度設定は目安としてお使いください。
- 給湯開始後しばらくの間は、配管内の冷めた水が出ます。
- リモコンの優先権を変更しても、現在設定されている給湯温度を表示します。
- 給湯を一旦停止して、再度給湯を開始した場合、少しの間、給湯温度が変動することがあります。
- 湯水混合栓を絞り、湯量が減るとお湯がぬるくなることがあります。

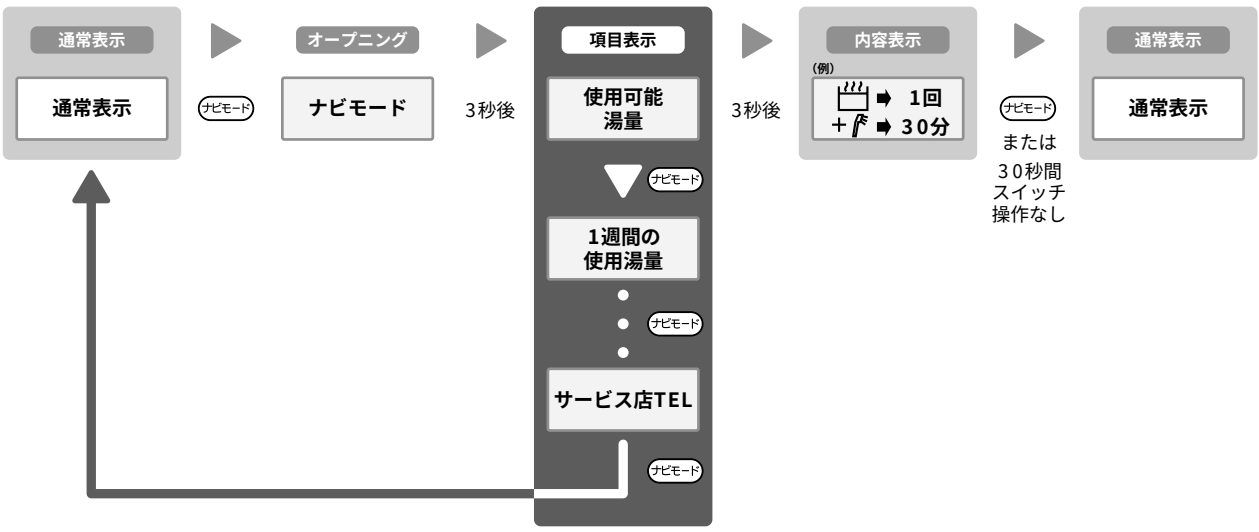
情報を見る（ナビモード）①

使用可能湯量や使用湯量、風呂保温残り時間等の情報を表示します。
（表示される内容は、目安です。）

表示項目一覧

表　示	内　容
使用可能湯量	現在の貯湯量で使用できるお湯の量と時間の目安を表示します。 使用可能湯量は、湯はり可能回数とシャワー使用可能時間で表示します。 湯はり可能回数は、湯はりを1回できるかどうか、シャワー使用可能時間は、湯はり可能回数分を除いたシャワー（給湯）に使用できるおよその時間を計算し、表示します。
1週間の使用湯量	過去1週間分の使用したお湯の量の目安を表示します。 過去1週間分の使用湯量を曜日別に表示します。使用湯量は43℃に換算した値です。 年・月・日が正しく設定されてないと、曜日が正しく表示されません。
運転モードを診断します	「深夜のみ」モードの運転で沸き上げたお湯で1日分をまかなえるかを診断します。 過去1週間のお湯の使用量から、「深夜のみ」モードで沸き上げたお湯の量だけでまかなえるかどうかを診断します。 運転モードが「おまかせ」以外の設定になっているときや、過去1週間分の使用湯量が記憶されていないときは表示されません。
貯湯温度	現在の貯湯タンク上部のお湯の温度を表示します。
風呂保温残り時間	ふろ自動運転の継続時間の残り時間の目安を表示します。
サービス店TEL	故障時の連絡先の電話番号を表示します。 オプション設定で登録されている電話番号を表示します。登録されていない場合は表示されません。

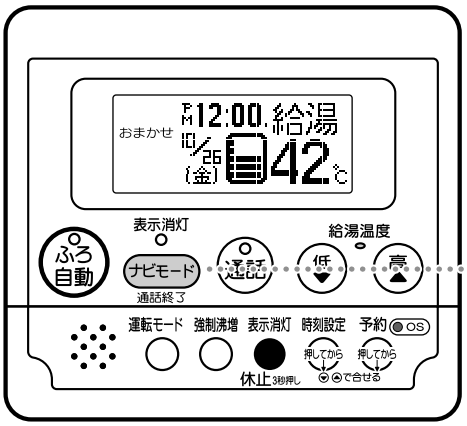
操作概要



情報を見る（ナビモード）②

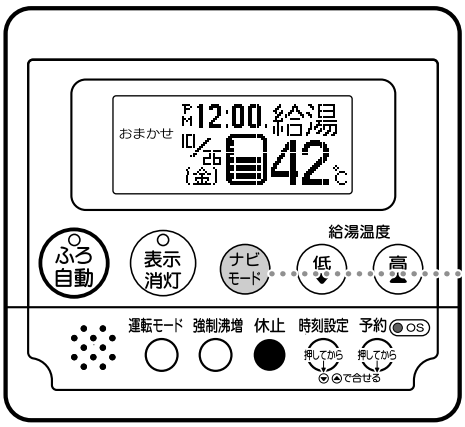
台所リモコン

＜台所リモコン＞



1,2,4

＜増設リモコン＞



1 ナビモード 通話終了 を押します。

●「ナビモード」と3秒間表示され、その後ナビモード項目表示になります。

ナビモード	→ 3秒後	項目表示：使用可能湯量

2 項目表示中に ナビモード 通話終了 を押し、見たい項目を選択します。

●次の順番で項目が切り替わります。全項目を表示すると通常表示に戻ります。

使用可能湯量
↓
1週間の使用湯量
↓
運転モードを診断します
↓
貯湯温度
↓
風呂保温残り時間
↓
サービス店TEL
↓
通常表示

3 3秒間待つと内容を表示します。

項目表示		内容表示
使用可能湯量	→ 3秒後	1回 ＋ → 30分

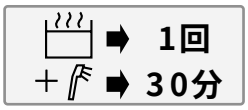
4 内容を約30秒間表示すると通常表示に戻ります。

また、 ナビモード 通話終了 を押すと、通常表示に戻ります。

情報を見る（ナビモード）③

使用可能湯量表示

現在の貯湯量で使用できるお湯の量と時間の目安を表示します。



浴槽マークは、貯湯タンクユニットの貯湯量をもとに、湯はりを1回できるかどうかを判断して回数（0または1回）を表示します。

シャワーマークは、湯はり回数を除いた残りの湯量でシャワーを使用できる時間の目安を表示します。

●シャワーに使用できる時間は5分単位で表示します。

●シャワー使用時間は給湯温度、前日までのお湯の使い方等によって変わります。

貯湯温度表示

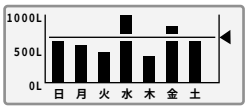
現在の貯湯タンク上部のお湯の温度を表示します。

●貯湯タンクユニットに溜まるお湯の温度は途中の配管の放熱ロスにより設定した沸き上げ温度より低くなります。

●貯湯タンクユニット内のお湯の温度は、時間の経過と共に放熱により低下します。

1週間の使用湯量表示

過去1週間分の使用したお湯の量の目安を表示します。



節約ラインは、「深夜のみ」モードで沸き上げた湯量で対応できるお湯の量の目安を表示します。

曜日別使用湯量（棒グラフ）は、曜日別に使用された湯量を43℃に換算して表示します。

●当日分は、午前0時からの使用湯量を表示します。

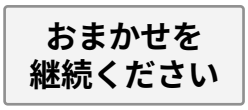
●年・月・日が正しく設定されていないと、曜日が正しく表示されません。

風呂保温残り時間表示

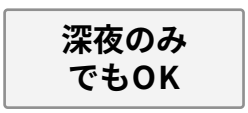
ふろ自動運転の継続時間の残り時間の目安を表示します。

運転モード診断表示

「深夜のみ」モードの運転で沸き上げたお湯で1日分をまかなえるかを診断します。



診断結果により、「深夜のみ」モードではお湯が不足すると診断した場合「おまかせを継続ください」を表示します。



「深夜のみ」モードでお湯をまかなえると診断した場合「深夜のみでもOK」を表示します。

●運転モードが「おまかせ」に設定されている場合のみ診断します。

●運転モード診断は、過去1週間分の使用湯量が記憶されないと表示されません。

●運転モード診断により「深夜のみ」運転モードを設定された後は、こまめな診断をおすすめします。「運転モード診断」は過去1週間の使用湯量より診断しますので、「深夜のみでもOK」と表示されても、季節、使用状態の変化によってはお湯が不足する場合があります。

サービス店TEL表示

故障時の連絡先の電話番号を表示します。

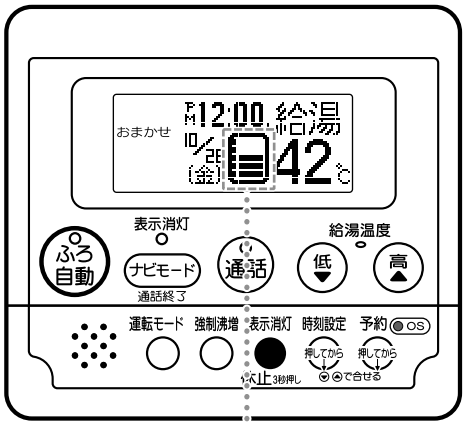
オプション設定したTEL番号を表示します。TEL番号が設定されていない場合はこの項目は表示しません。

●サービス店の電話番号が設定されていない場合は、オプション設定で電話番号登録が必要です。
（▶▶29ページ）

貯湯量表示について

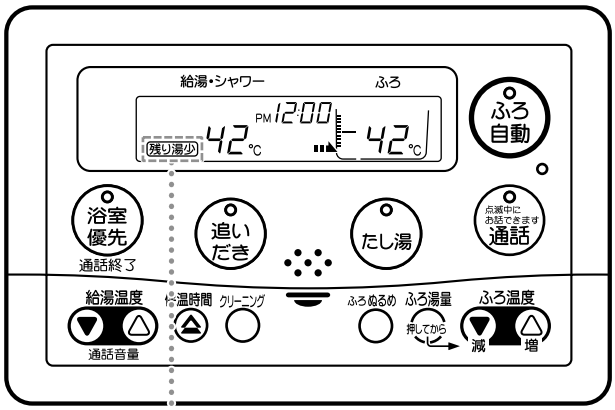
台所リモコンの貯湯量表示は、貯湯タンク内のお湯の量を次のように表示しています。
貯湯量表示は、目安です。

台所リモコン



貯湯量表示

浴室リモコン



貯湯量表示

貯湯量表示	貯湯量（目安）
残り湯少 ※1（点滅）	約20L未満（警告音が2回鳴ってお知らせします）
残り湯少 ※1（点灯）	約50L未満（警告音が1回鳴ってお知らせします）
	約50L以上
	約100L以上
	約150L以上
	約200L以上
	※2

※1 「残り湯少」表示は、浴室リモコンでも表示されます。
（浴室リモコンでは残り湯少が点滅または点灯します。）

※2 SBP-371KMZHの場合、約250L以上。
SBP-463KMZHの場合、約300L以上。

お知らせ

- 貯湯量表示は、約50℃以上のお湯の量を段階的に示しています。
  運転モードを切り替えると変わる事があります。
- 貯湯量が少ないと、一部機能の制限があります。
  詳しくは、32ページ「おふろの使い方②」を参照してください。

湯切れをしないために

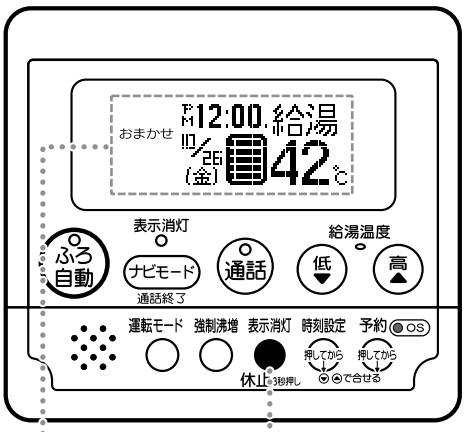
- 湯はりなどで大量にお湯を使用されるときは、使用される前に貯湯量の確認を行ってください。貯湯量が不足しそうなときは、「強制沸増」を利用してください。（▶▶ 19ページ）
- 日頃のお湯の使用量が少ない場合や、暑い季節から寒い季節への変わり目など沸き上げ温度が低めの場合は、高めの温度の給湯や湯はり、追いだきにより早めに貯湯量表示（2～4本）が減少することがあります。
- 外泊などによって1日以上お湯を使用されなかったときは、貯えられたお湯の温度が低下し、早めに貯湯量表示（2～4本）が減少することがあります。

リモコンの表示を消す（表示消灯）

台所リモコンと浴室リモコンの表示を、自動で消灯する自動消灯モードと常に表示する常時点灯モードを切り替えることができます。
自動消灯モードでは、30分以上スイッチ操作や給湯をしないときに表示を消します。

台所リモコン

＜台所リモコン＞

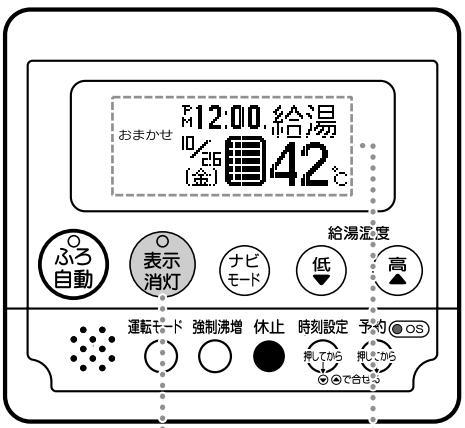


表示部

お買い上げ時の設定
常時点灯

1, 2

＜増設リモコン＞



1, 2

表示部

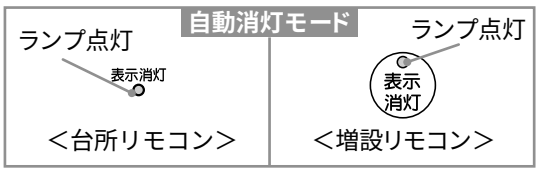
＜台所リモコン＞

1 表示消灯 ● **を押します。**

＜増設リモコン＞

表示消灯 **を押します。**

- リモコンの表示が消灯し、表示消灯ランプが点灯します。（自動消灯モード）
- 浴室リモコンの表示も台所リモコンと同様に消灯します。



2 常時点灯させるときは、もう一度

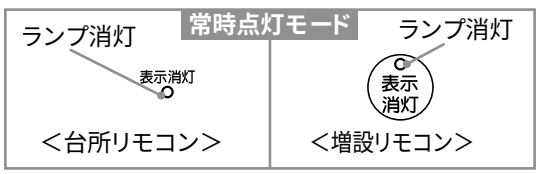
＜台所リモコン＞

表示消灯 ● **を押します。**

＜増設リモコン＞

表示消灯 **を押します。**

- 表示が点灯し、表示消灯ランプが消灯します。（常時点灯モード）



お知らせ

- 自動消灯モードは、30分（※）以上スイッチ操作や給湯を使用しないと表示は自動的に消灯します。
  ※「おまかせ」運転モードで「湯量控えめ」（最低貯湯量）に設定している場合は、30秒で消灯します。
- 貯湯量が少ない（「残湯少」点灯または点滅中）ときは、自動消灯モードでも表示は消えません。貯湯量が確保されれば消灯します。
- 台所リモコンまたは浴室リモコンのどれかのスイッチを押すか、給湯を使用すると表示が点灯します。
- 給湯中および、ふろ動作（ふろ自動、追いだき、たし湯、ふろぬるめ、呼出し、通話中、クリーニング）中は、自動消灯モードでも表示が点灯します。
- 「沸増し中」表示は、自動消灯モードでも表示が点灯します。

オプション設定①

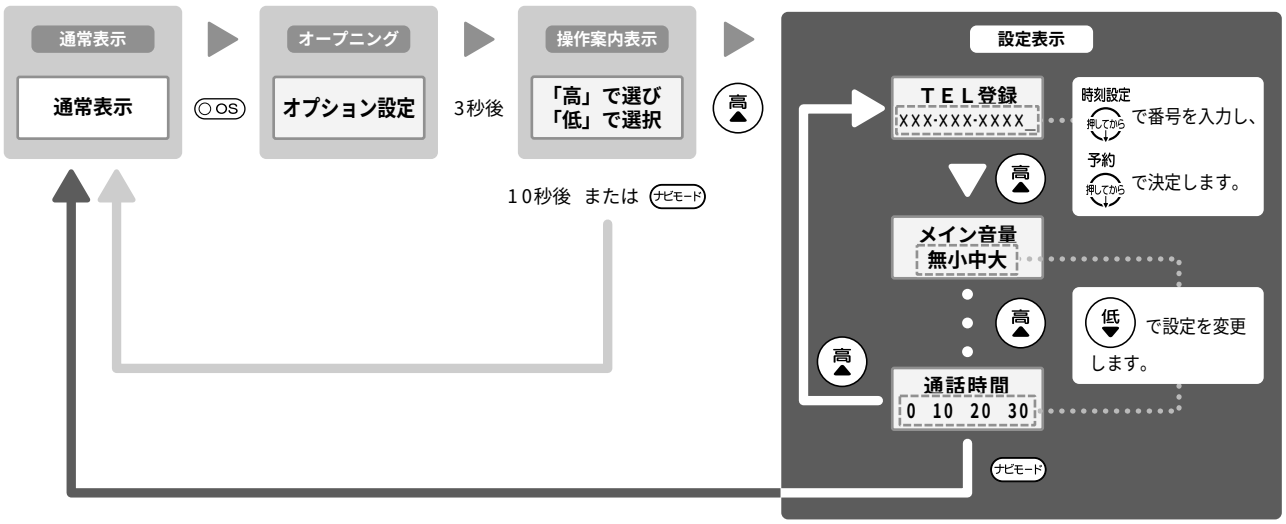
故障時の連絡先の電話番号登録やリモコンの音量、明るさ、強制沸増量などの設定ができます。

設定項目一覧

設定項目（表示）	設定内容	お買い上げ時の設定	設定範囲
TEL登録	故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します	–	（電話番号入力）
メイン音量	台所リモコンの音量を設定します　※2	中	無・小・中・大
サブ音量※1	増設リモコンの音量を設定します　※2	中	無・小・中・大
リモコン操作音	リモコン操作音の有／無を設定します	有り	有り・無し
メイン輝度量	台所リモコン表示部の明るさを設定します	明	明・暗
浴室輝度量	浴室リモコン表示部の明るさを設定します	明	明・暗
サブ輝度量※1	増設リモコン表示部の明るさを設定します	明	明・暗
強制沸増量	強制沸増時の1回の沸き増し量を設定します	満タン	50L・100L・満タン
通話時間	台所リモコンと浴室リモコン間で1回（一方向）に通話できる時間を設定します　※3	10（秒）	0・10・20・30（秒）

※1 増設リモコン（別売）をご使用の場合に表示します。
※2 音量「無し」に設定しても警告音と湯はり終了時のメロディ音は鳴ります。
※3 通話時間を「0」秒に設定すると通話できません。呼出音のみになります。

操作概要

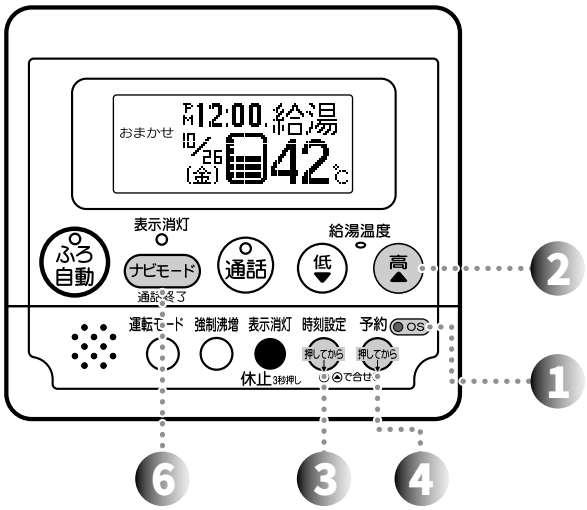


※「ナビモード」を押すか、10秒以上スイッチ操作をしないと通常画面に戻ります。

オプション設定②（TEL登録）

故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します。

台所リモコン



お知らせ

- ナビモード（通話終了）を押すと、オプション設定モードが終了し、通常表示に戻ります。
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、表示されている内容で決定し、通常表示に戻ります。

電話番号登録

1 OS を押します。

- ボールペンの先のようなもので押してください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、設定モードになります。

オプション設定	→	「高」で選び「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

2 操作案内表示中に（高）を押し、「TEL登録」を選択します。

点滅 TEL登録
_

電話番号登録が設定されていないとき、全て「＿」となり、一番左が点滅します。

3 時刻設定（押してから）を押し、番号を選択します。

点滅 TEL登録
X

時刻設定（押してから）を押すごとに数字が大きくなります。

4 予約（押してから）を押し、番号を決定します。

点滅 TEL登録
X

予約スイッチで決定すると、点滅表示部は一桁右へ移動します。

5 3、4の手順を繰り返し、電話番号を設定します。

- 右端が点滅のとき 予約（押してから）を押すと先頭に戻ります。

TEL登録 点滅	→	点滅 TEL登録
XXX-XXX-XXXX_		XXX-XXX-XXXX_

6 ナビモード（通話終了）を押し、終了します。

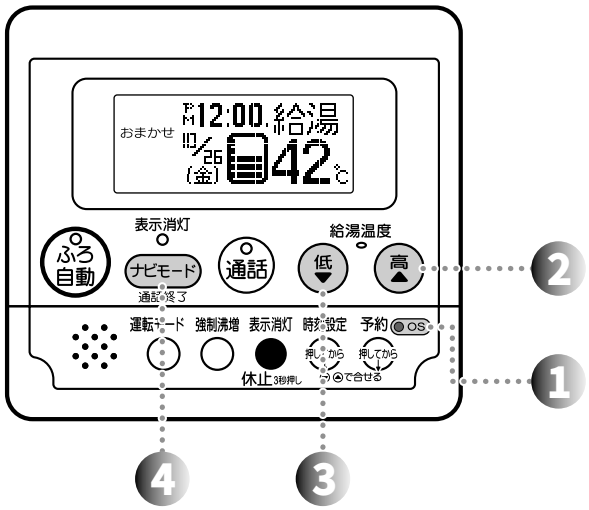
- 通常表示に戻ります。
- 他の項目を設定する場合は（高）を押します。

オプション設定③

メイン音量・サブ音量・リモコン操作音・メイン輝度量・サブ輝度量・浴室輝度量・強制沸増量・通話時間

リモコンの音量や、操作音、表示の明るさなどを設定します。
（台所リモコンの音量設定を例に説明します。）

台所リモコン



お知らせ

- ナビモード 通話終了 を押すと、オプション設定モードが終了し、通常表示に戻ります。
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、選択している設定で決定し、通常表示に戻ります。

台所リモコン音量設定

1 OS を押します。

- ボールペンの先のようなもので押してください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

2 高 を押し、設定したい項目を選択します。

メイン音量 無小**中**大（中 点滅）　現在の設定が点滅します。

3 低 を押し、設定したい項目を選択します。

メイン音量 無小**中**大（中 点滅）　低 を押すたびに、設定が切り替わります。

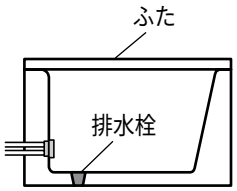
4 ナビモード 通話終了 を押し、終了します。

- 通常表示に戻ります。
- 他の項目を設定する場合は 高 を押します。

おふろの使い方①

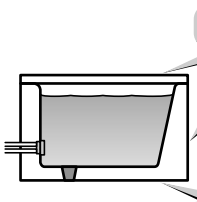
スイッチを押すだけで、設定した湯量・湯温で湯はりをします。湯はりが終わると、自動で保温とたし湯を行います。また、湯はり予約をすると、予約した時刻に入浴できるよう自動湯はりします。

1 浴槽を確認します。



排水栓を閉じて、浴槽にふたをします。

2 湯はり量や温度を設定します。

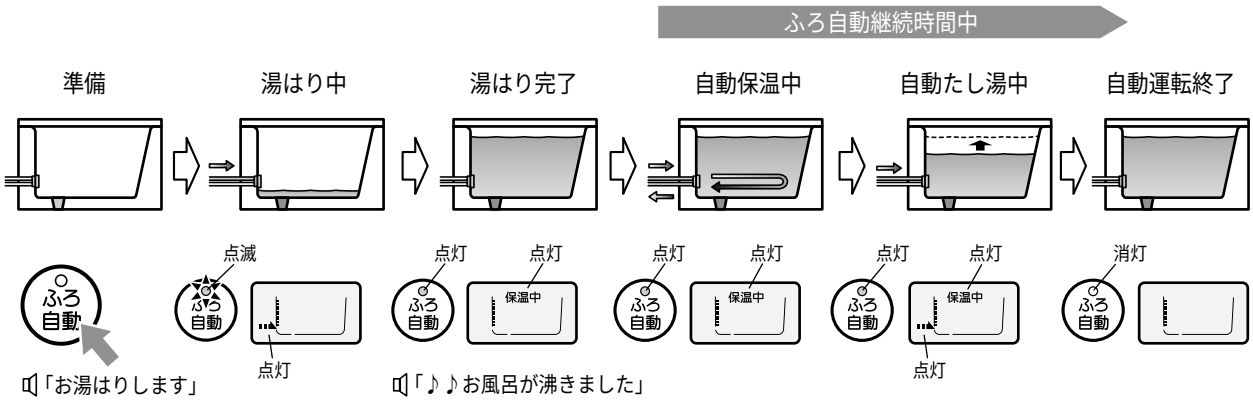


湯量・湯温
ご家庭の浴槽に合わせて湯量と湯温を設定します。（▶▶ 33ページ）

継続時間
お好みに合わせてふろ自動運転の継続時間を設定します。（▶▶ 34ページ）

湯はり予約
湯はり時間を予約できます。（▶▶ 35ページ）

3 湯はりをします。（▶▶ 37ページ）

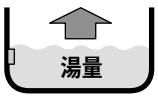


こんなときは

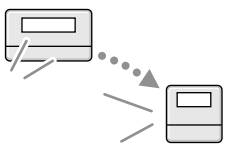
- 湯温をあげたいとき
- 昨日の残り湯を沸かしたいとき（追いだき）（▶▶ 40ページ）

- 湯温をさげたいとき（ふろぬるめ）（▶▶ 41ページ）

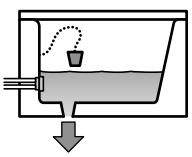
- お湯を増やしたいとき（たし湯）（▶▶ 42ページ）



- 台所と通話するとき（▶▶ 43ページ）

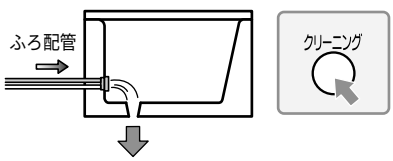


4 排水します。



排水栓を抜いて、おふろの湯を抜きます。

5 ふろ配管を洗浄します。（クリーニング）

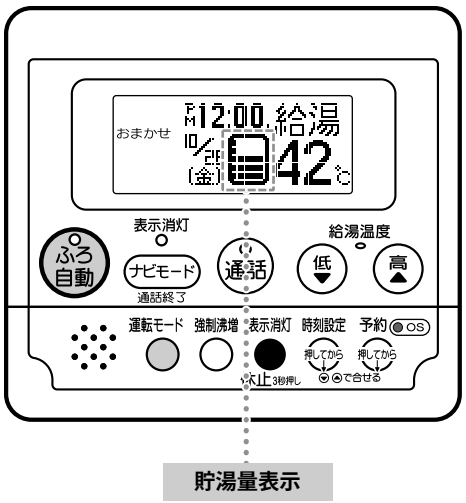


ふろ配管にたまった水を、きれいな水で流します。

おふろの使い方②

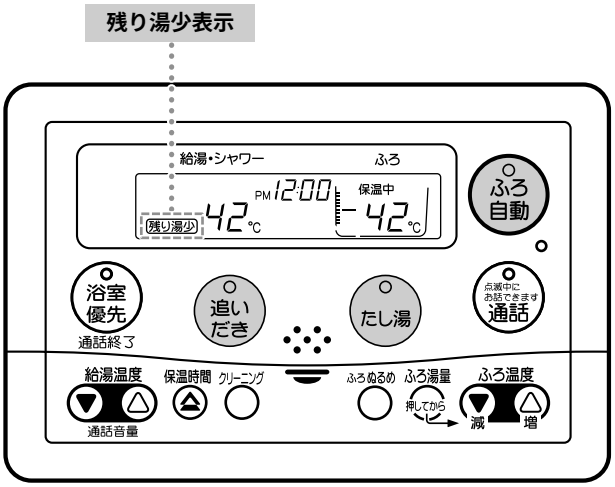
貯湯量と機能制限

台所リモコン



貯湯量表示

浴室リモコン



●貯湯量が少なくなると、一部操作ができない場合があります。
操作の前に、「強制沸増」をして、貯湯量を確保してください。（▶▶ 19ページ）

貯湯量表示	ふろ自動	追いだき		たし湯
		右記以外	「深夜のみ」モード 深夜時間帯以外	
残湯少（点滅）	できません	できます（時間がかかる場合があります※2）	できません	できません
残湯少（点灯）				できます
バー表示（点灯）	できます（できない場合があります※1）		できます（途中で停止する場合があります※3）	

＜ふろ自動運転＞
「残湯少」が点滅または点灯したら、ふろ自動運転はできません。
※1 バー表示がある場合でも、貯湯温度によっては運転に必要な貯湯量が不足する場合があります。
この場合はふろ自動運転はできないことがあります。

＜追いだき＞
追いだきに必要な貯湯量があれば、追いだきできます。
※2 貯湯量が不足する場合、追いだき後すぐに一時停止します。また、追いだき途中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り一時停止することがあります。この後、自動沸き増しにより貯湯量が確保されると追いだきを再開します。

■「深夜のみ」モードの場合の深夜以外の時間帯
「残湯少」が点滅または点灯したら、追いだきできません。
※3 貯湯量が不足する場合、追いだき後すぐに一時停止します。また、追いだき途中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り一時停止することがあります。この後、自動沸き増しを行いません。「強制沸増」をして貯湯量を確保してから追いだきをしてください。

＜たし湯＞
「残湯少」が点滅したら、たし湯できません。

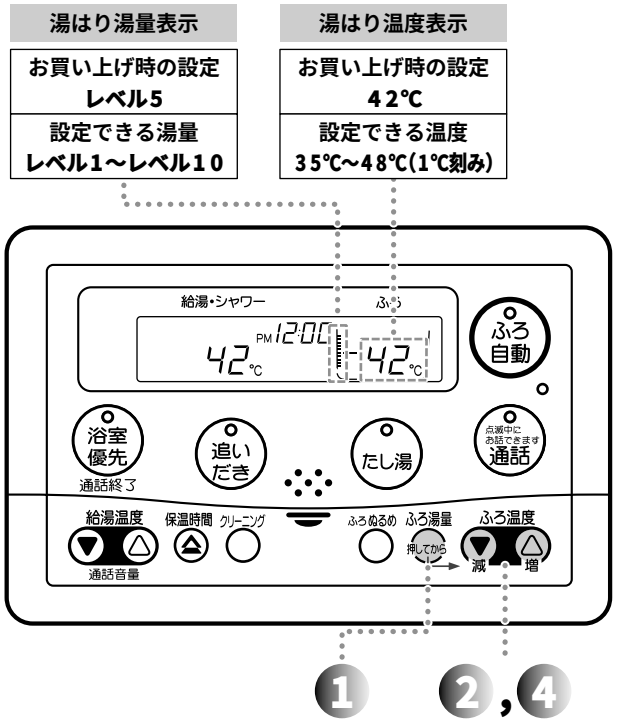
湯切れをしないために

●湯はりなどで多量にお湯を使用されるときは、使用される前にナビモードの「使用可能湯量」表示などで貯湯量の確認を行ってください。貯湯量が不足しそうなときは、「強制沸増」を利用してください。

●外泊などによって1日以上お湯を使用されなかったときは、貯えられたお湯の温度が低下し、早めに貯湯量表示が減少することがあります。この場合、バー表示が1本～2本では、「ふろ自動」を押すと「C03」（▶▶ 59ページ）表示がでることがあります。「強制沸増」でバー表示を2～3本以上にしてください。

湯はり量と温度の設定

浴室リモコン

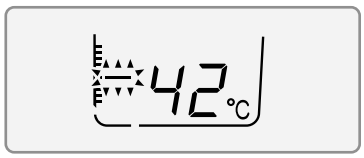


湯はり量の設定

1 ふろ湯量 押してから を押します。

●湯量表示バーが点滅します。

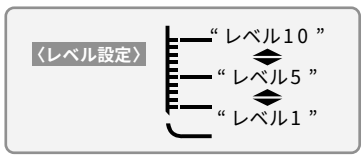
表示部



2 ふろ温度 減 増 を押し、湯量を設定します。

- ふろ温度 増 を押すと1レベルずつ増加します。
- ふろ温度 減 を押すと1レベルずつ減少します。
- 1レベルあたり、約3cm水位が変わります。

表示部



3 そのまま5秒経過すると設定完了です。

●点滅している湯量で設定され、通常の表示に戻ります。

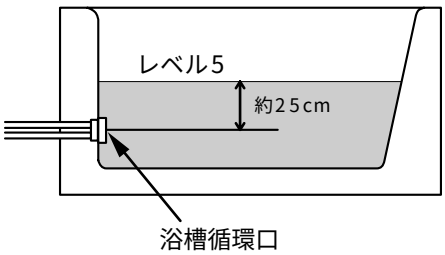
湯はり温度の設定

4 ふろ温度 減 増 を押し、温度を設定します。

- ふろ温度 増 を押すと1℃ずつ高くなります。
- ふろ温度 減 を押すと1℃ずつ低くなります。
- 浴槽内のお湯の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの表示は目安としてお使いください。

お知らせ

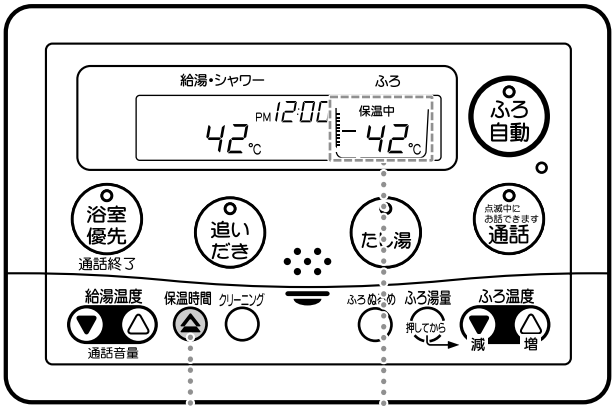
●湯はり湯量の「レベル5」は、浴槽循環口の中心より約25cm高い水位になります。



ふろ自動運転継続時間の設定

ふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）の継続時間を設定することができます。

浴室リモコン



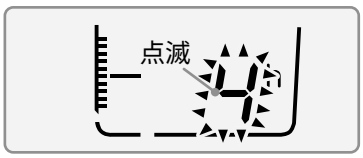
1, **2**

保温時間表示
お買い上げ時の設定 4時間（表示：4）
設定できる時間 0時間～6時間 （1時間刻み）

1 保温時間 ⏏ を押します。

●湯はり温度表示から現在の保温時間表示に替わり、時間が点滅し変更可能になります。

表示部



2 保温時間 ⏏ を押し、継続時間を設定します。

● 保温時間 ⏏ を押すごとに表示が切り替わります。

お知らせ

●継続時間を「0」時間に設定されますと、湯はり完了後の自動運転（自動保温・自動たし湯）は行われません。

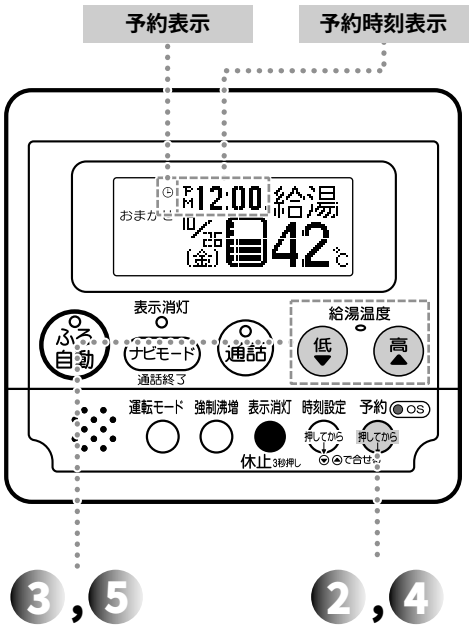
3 そのまま5秒経過すると設定完了です。

●点滅している時間で設定され、通常の表示（湯はり温度表示）に戻ります。

湯はり予約①

湯はり予約を設定すると、予約した時刻に入浴できるよう自動湯はりを行います。

台所リモコン



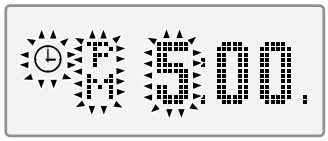
1 浴槽を確認します。

- 残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じます。
- 浴槽にふたをします。

2 予約（押してから）を押します。

- 🕒 および「時」が点滅し、現在時刻表示から予約時刻表示に替わります。

表示部



※前回入力した予約時刻を表示します。

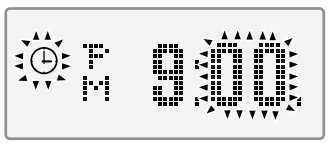
3 給湯温度 低 高 を押し予約「時」を合わせます。

- 高 を押すと1時間ずつ進みます。
  （押し続けると連続して進みます。）
- 低 を押すと1時間ずつ戻ります。
  （押し続けると連続して戻ります。）

4 予約（押してから）を押します。

- 時間が設定され、「分」が点滅します。

表示部



5 給湯温度 低 高 を押し予約「分」を合わせます。

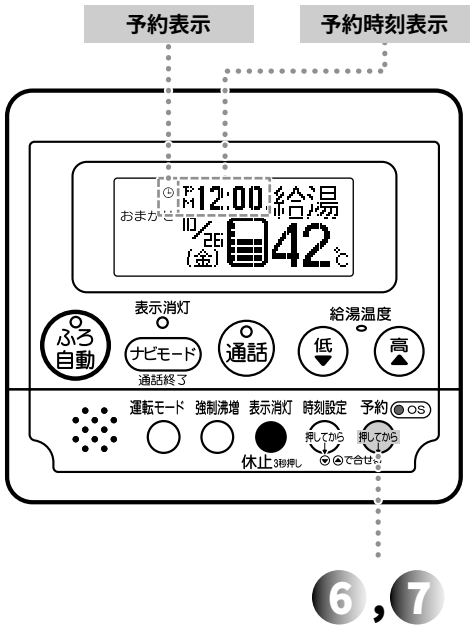
- 高 を押すと1分ずつ進みます。
  （押し続けると連続して進みます。）
- 低 を押すと1分ずつ戻ります。
  （押し続けると連続して戻ります。）

お知らせ

- 湯はり予約をしている間、予約表示部に 🕒 が点灯し時刻は現在時刻を表示します。
- 湯はり予約は、入浴時刻（湯はり完了時刻）の1時間以上前に行ってください。
  1時間以内に予約した場合は、予約した時刻に湯はりが完了しないことがあります。
- 予約操作の途中に10秒以上スイッチが押されないと、表示の時刻が予約時刻となりますので、予約操作をやり直してください。
- 台所リモコンの現在時刻が正確でないと、予約した時刻に湯はりが完了しません。
- 湯はり予約は、湯はり動作が開始すると自動的に解除されますので、その都度予約操作を行ってください。
- 湯はり予約中に ふろ自動 、 追いだき 、 だし湯 、 ふろ栓のみ 、 クリーニング を押すと、予約は解除されます。
- 予約で湯はり中に、台所やシャワーなどから湯を使用されますと、予約時刻までに湯はりが完了しないことがあります。

湯はり予約②

台所リモコン



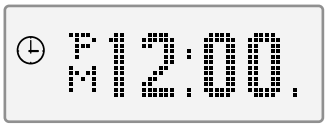
6 , 7

6 予約（押してから）を押し、予約完了です。

- ◷ が点灯となり、現在時刻表示に変わります。
- 浴室リモコンにも予約の文字を表示します。

表示部

（例：現在時刻午後（PM）12時00分）



予約をやめるとき

7 予約中に（予約 押してから）を押します。

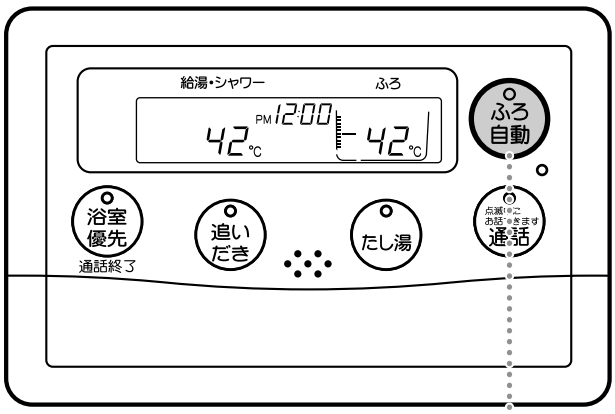
- ◷ が消え、湯はり予約が解除されます。

湯はりをする①（ふろ自動運転）

スイッチを押すだけで、設定した湯量・湯温で湯はりをします。湯はりが終わると、自動で保温とたし湯を行います。

浴室リモコン

台所リモコンでも操作できます。



2

湯はり時間の目安
15～20分
（1階の浴室、湯はり湯量レベル5のとき）

お願い

- ふろ自動運転中にジェットバスを使用しないでください。
  ジェットバス等の気泡や水泡によりエコキュートがふろの水位を誤検知し、設定通りにならないことがあります。
- 湯はり中は、湯水混合栓やシャワーなどから浴槽へお湯や水を足したり、浴槽からお湯をくみ出したり排水したりしないでください。
  正常に湯はりできないことがあります。
- 湯はり完了前に入浴しないでください。
  正常に湯はりができないことがあります。
- 浴槽循環口より下に残り湯がある状態で、湯はりをしないでください。
  水位が変動したり、エラーが出ることがあります。

⚠警告

- **入浴するときは、浴槽循環口から離れる。**
  やけどをすることがあります。
  追いだきするときや、自動保温中または自動運転を終了したときに熱いお湯がでます。

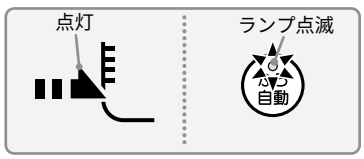
1 浴槽を確認します。

- 残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じます。
- 浴槽にふたをします。

2 ふろ自動を押します。

- 台所リモコン側で「お湯はりします」と音声でお知らせするとともにランプが点滅し、浴室リモコン側ではランプ点滅のみで音声案内はしません。
- 自動湯はりを開始します。
- 湯はり中は、ふろ自動ランプが点滅します。

表示部



湯はりを途中でやめるとき

ふろ自動運転中にふろ自動を押します。

- ふろ自動ランプが消え、湯はりを中止します。

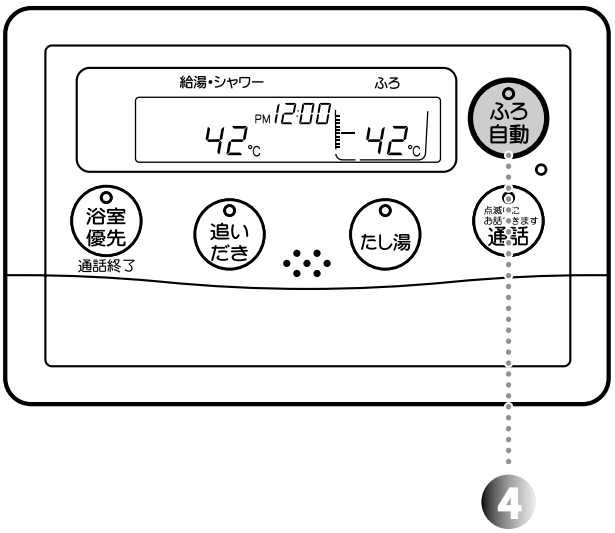
3 湯はりが完了すると、お知らせします。

- 台所リモコン側で「♪♪、お風呂が沸きました」とお知らせします。
  浴室リモコン側では「報知音」のみで、音声案内はしません。
- ふろ自動ランプが点灯に変わります。

湯はりをする②（ふろ自動運転）

浴室リモコン

台所リモコンでも操作できます。



4 自動保温・自動たし湯をします。

●湯はり終了後、設定した保温時間中、自動保温・自動たし湯をします。
保温時間を過ぎると「ふろ自動運転」は解除され、ふろ自動ランプが消えます。

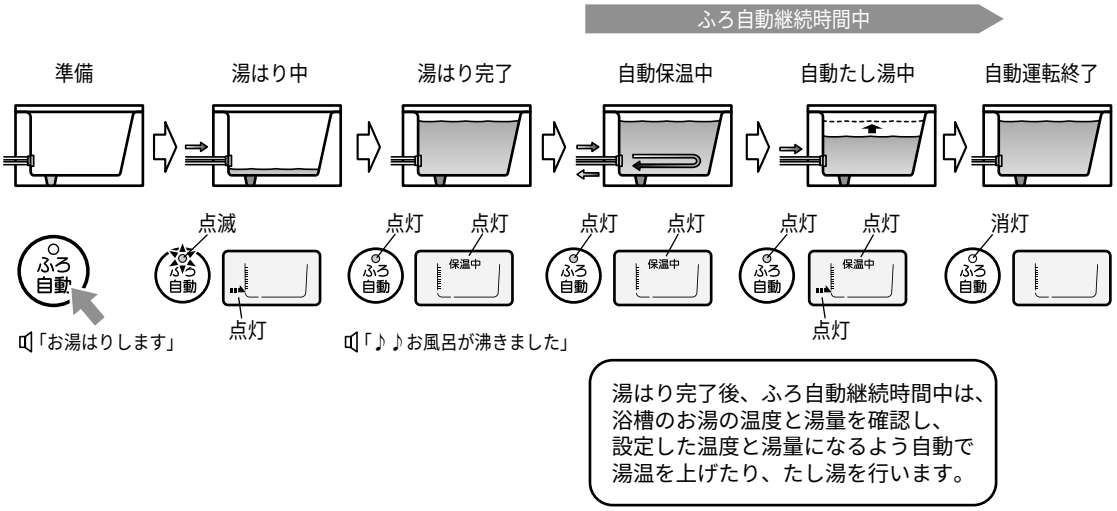
ふろ自動運転を続けたいとき

もう一度（ふろ自動）を押します。

●ふろ自動ランプが点灯し、自動保温・自動たし湯が延長されます。

湯はりをする③（ふろ自動運転）

ふろ自動運転中の動作



湯はり完了後、ふろ自動継続時間中は、浴槽のお湯の温度と湯量を確認し、設定した温度と湯量になるよう自動で湯温を上げたり、たし湯を行います。

お知らせ

- 湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用されますと、湯はり時間が長くなることがあります。また、他の水栓の使用量が多く湯はり用に十分な流量が確保できないときは、湯はりを自動的に停止することがあります。
- 給湯とふろ湯はりを同時に行ったときは、給湯量が減少することがあります。
- 湯はり動作中に、循環ポンプが運転しますが異常ではありません。また、ふろ配管内の泡が浴槽循環口からボコボコと出ることがありますが異常ではありません。
- 設置後2回目までの湯はりは浴槽サイズを学習していますので、湯はり時間が若干長くなります。

（湯はり時間の目安：一般的200Lサイズ浴槽、レベル5のとき25～30分）

- ふろ配管が冷めているときは、自動保温・自動たし湯開始後しばらくの間は冷めた水が出ます。
- 湯はり完了後の自動保温中に「残り湯少」表示が点灯または点滅したとき、ふろ自動運転を解除すると、再度ふろ自動運転を受け付けることができません。
- ふろ自動運転を停止または終了したときは、ふろ配管の残り湯を排水するため、約3Lのお湯（水）が出ます。
- ふろ自動運転が終了すると、外気温が低いときには入浴中でも凍結防止が働き、ふろ配管内の冷めた水が浴槽内に出ることがあります。

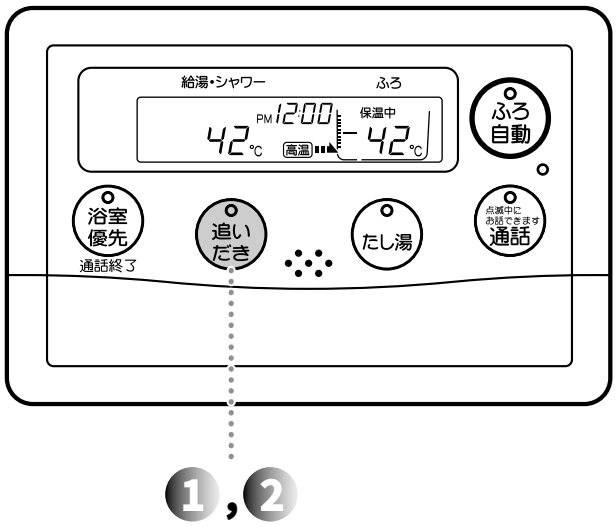
こんなときは

こんなとき	処置のしかた
「ふろ自動」スイッチを受け付けない	「残湯少」が点滅または点灯したらふろ自動運転はできません。「強制沸増」をして、貯湯量を確保してからふろ自動運転をしてください。（▶▶19ページ）
お知らせ表示「CO1」が表示される	排水栓を開けたままふろ自動運転をしたときやふろ自動運転中に排水したときに表示されます。排水栓を閉じて、再度湯はりをしてください。（▶▶ 59ページ）
お知らせ表示「CO3」で湯はりが止まる	貯湯量が不足しています。「強制沸増」をして、貯湯量を確保してからふろ自動運転をしてください。（▶▶ 59ページ）
「保温中」表示が点滅している	貯湯量が少なくなり、自動保温が一時停止しています。自動沸き増しで貯湯量が確保されると、自動保温が再開されます。 ※「深夜のみ」モードの深夜時間帯以外は、自動沸き増しをしませんので「強制沸増」をしてください。（▶▶19ページ）

浴槽の湯温をあげる（追いだき）

浴槽湯温を約2℃あげるように追いだきします。
ぬるくなった湯温を約設定温度+1℃になるように追いだきします。

浴室リモコン



1,2

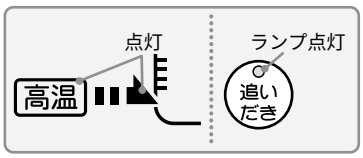
⚠警告

- **入浴するときは浴槽循環口から離れる。**
  やけどをすることがあります。
- **浴槽にお湯がないときは、追いだきスイッチを押さない。**
  やけどをすることがあります。
  追いだきをしたときに熱いお湯が出ます。

1 （追いだき）を押します。

- 追いだきランプ、高温表示、矢印表示が点灯し、追いだきが行われます。

表示部



お知らせ

- 追いだき運転は、以下のように動作します。
  ①浴槽の湯温が設定温度より低い場合は約設定温度+1℃になるように追いだきします。
  ②浴槽の湯温が設定温度より高い場合は約2℃湯温をあげるように追いだきします。
- 昨日の残り湯を沸かしなおす場合に、残り湯の温度が低い場合や貯湯量が少ない場合は、追いだきできない事があります。この場合、一旦追いだきを中止して、浴槽のお湯を排水して、「ふろ自動」で湯はりしてください。
- 追いだきに要する時間は、使用湯量、貯湯温度により長くなる場合があります。
- ふろ配管が冷めているときは、追いだき開始後しばらくの間は冷めた水が出ます。
- 次の動作中は追いだきできません。
  ・自動湯はり中、ふろぬるめ中、たし湯中、ふろ配管洗浄（クリーニング）中
- 「残湯少」が点滅または点灯したら、「深夜のみ」モードの場合の深夜以外の時間帯は追いだきできません。
- 追いだき終了時や追いだきを途中でやめるときには、ふろ配管の残り湯を排水するため、約3Lのお湯（水）が出ます。
- 貯湯タンクユニットの熱がおふろに移動するため、追いだき中に貯湯量が減り、貯湯量表示が減少することがあります。
  ※お湯が漏れているわけではありません。

追いだきを途中でやめるとき

2 追いだき中に（追いだき）を押します。

- 追いだきランプが消え、追いだきを中止します。

追いだきランプが点滅しているとき

貯湯量が足りないため、追いだきを一旦停止します。

- 自動沸き増しで、貯湯量が十分になると自動で追いだきを再開します。

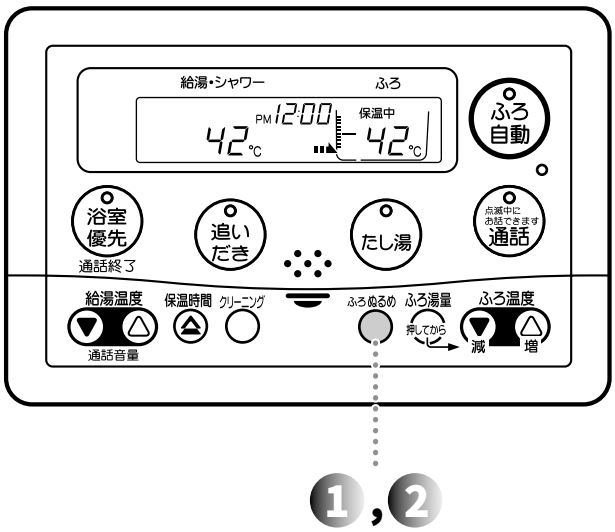
貯湯量と追いだき一時停止

- 追いだきに必要な貯湯量がない場合、すぐに一時停止します。また、追いだき途中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り一時停止することがあります。
  （一時停止は、追いだきランプが点滅します。）
  自動沸き増しにより貯湯量が確保されると追いだきを再開します。
  ただし、「深夜のみ」モードの場合、深夜以外の時間帯は自動沸き増しを行いませんので、「強制沸増」をしてください。（▶▶ 19ページ）

浴槽の湯温をさげる（ふろぬるめ）

湯温を約1℃下げるために必要な水（最大60L）が浴槽循環口から出ます。

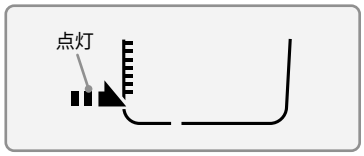
浴室リモコン



1 ふろぬるめ ○ **を押します。**

●矢印表示が点灯し、さし水が行われます。

表示部



ふろぬるめを途中でやめるとき

2 **ふろぬるめ中に** ふろぬるめ ○ **を押します。**

お知らせ

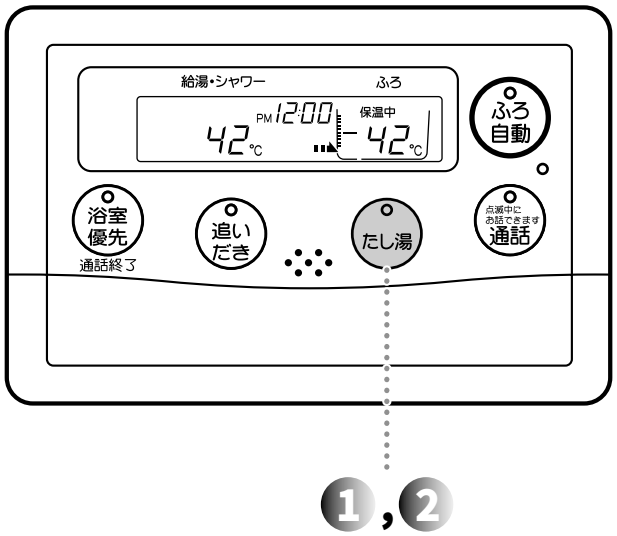
●次の動作中はさし水できません。

・自動湯はり中、たし湯中、追いだき中、ふろ配管洗浄（クリーニング）中

浴槽のお湯をふやす（たし湯）

設定されている温度のお湯（約20L）が浴槽循環口から出ます。

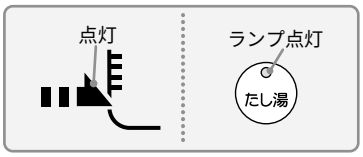
浴室リモコン



1 （たし湯）を押します。

●たし湯ランプ、矢印表示が点灯し、たし湯が行われます。

表示部



たし湯を途中でやめるとき

2 たし湯中に（たし湯）を押します。

●たし湯ランプが消え、たし湯を中止します。

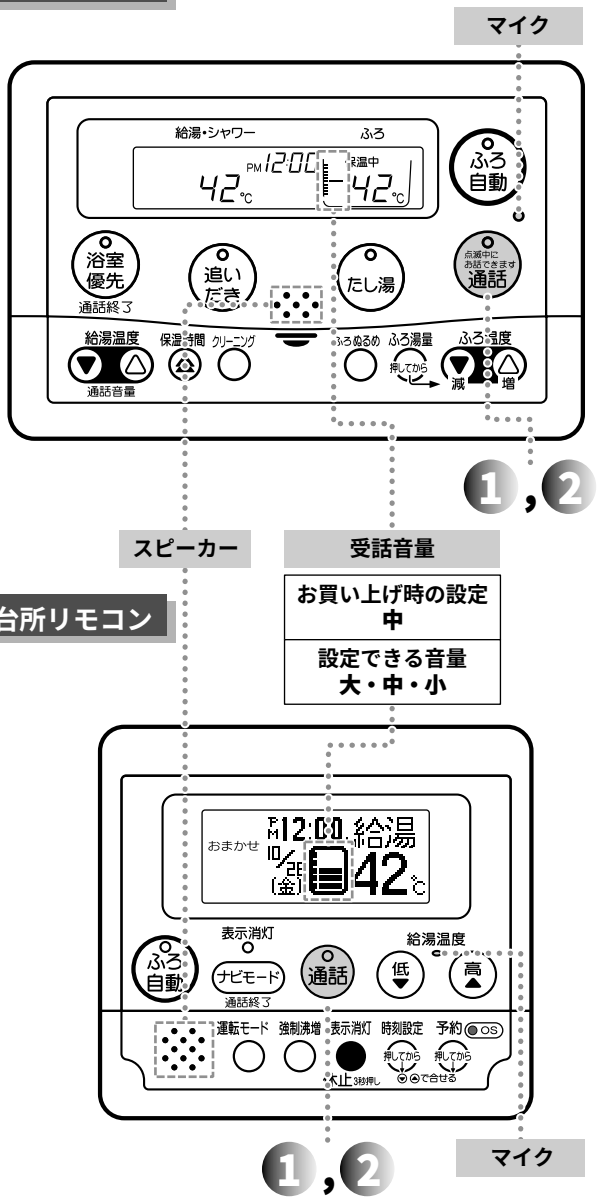
お知らせ

●ふろ配管が冷めているときは、たし湯開始後しばらくの間は冷めた水が出ます。
●次の動作中はたし湯できません。
・自動湯はり中、追いだき中、ふろぬるめ中、ふろ配管洗浄（クリーニング）中
●「残り湯少」表示が点滅したら、たし湯はできません。
「強制沸増」して、貯湯量を確保してから、たし湯をしてください。

台所と通話する①

浴室リモコンと台所リモコンの間で通話することができます。また、受話音量を変えることができます。通話は、通話スイッチを押して切り替えます。

浴室リモコン



お知らせ

- 通話 を押して通話を始めた最初のみ（一度だけ）、設定した時間内（10秒・20秒・30秒）に 通話 を押さなかった場合送話と受話が切り替わります。
  （オプション設定 ▶▶ 28ページ）
- 通話時間を0秒に設定すると、呼出音のみとなり通話はできません。
- 最長4分間通話することができます。
  ただし、 通話 を押さないと設定した時間（10秒・20秒・30秒）で通話が終了します。
- リモコンから30cm程度離れて通話をしてください。

1 通話 を押します。

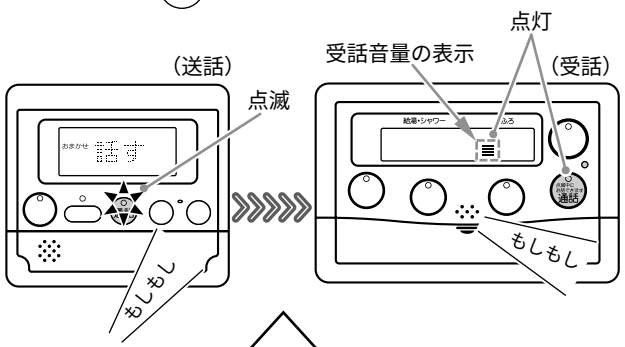
●ピピピピッ、ピピピピッと呼出音が鳴ったあとに、相手に話すことができます。

2 通話 を押すごとに、送話と受話が切り替わります。

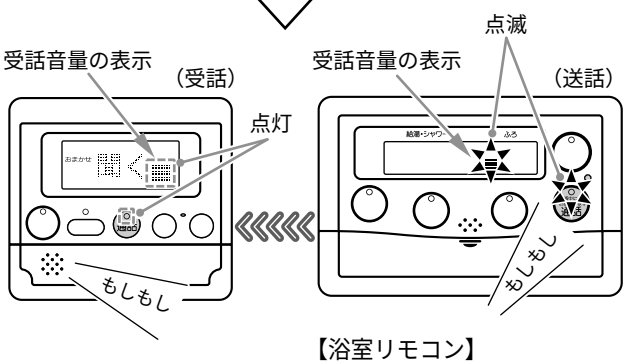
送話と受話の切り替え

台所リモコン　　**浴室リモコン**

台所リモコンの 通話 を押すと



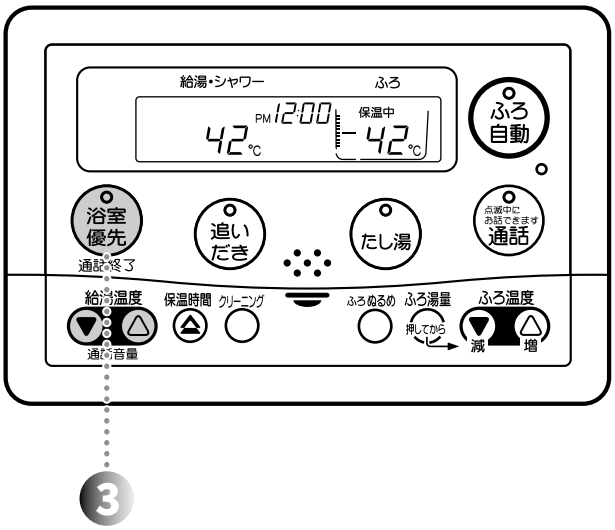
浴室リモコンまたは台所リモコンの
通話 を押すと送話と受話が切り替わります。



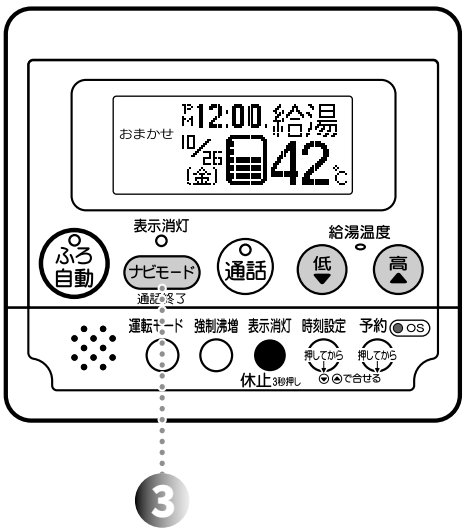
【浴室リモコン】
通話ランプと受話音量表示は、
・受話のとき、点灯します。
・送話のとき、点滅します。

台所と通話する②

浴室リモコン



台所リモコン



お知らせ

- 増設リモコンをご使用の場合、台所リモコンと浴室リモコンの間が通話中のとき、増設リモコンでスイッチ操作はできません。
- 浴室リモコンにおいて、ふろ自動、たし湯、追いだき、浴室優先のランプ点灯中に 通話 を押して通話を始めると、通話ランプ以外のランプは通話中、一時消灯します。

3 通話を終了します

- 浴室リモコンは 浴室優先 通話終了 を押します。
  通話ランプは消灯します。
- 台所リモコンは ナビモード 通話終了 を押します。
  通話ランプは消灯します。

受話音量の変更

受話のとき、受話音量を変えることができます。

- 受話音量は3段階で変えることができます。

<浴室リモコン>

給湯温度 通話音量 を押します。

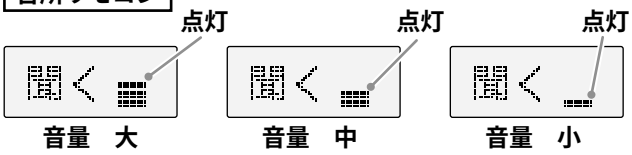
- 給湯温度 通話音量 を押すと受話音量が大きくなります。
- 給湯温度 通話音量 を押すと受話音量が小さくなります。

<台所リモコン>

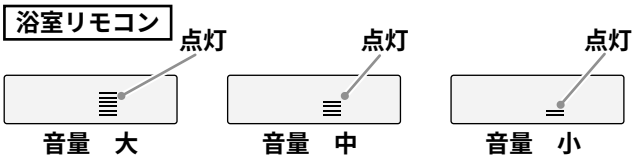
給湯温度 低 高 を押します。

- 高 を押すと受話音量が大きくなります。
- 低 を押すと受話音量が小さくなります。

台所リモコン



浴室リモコン

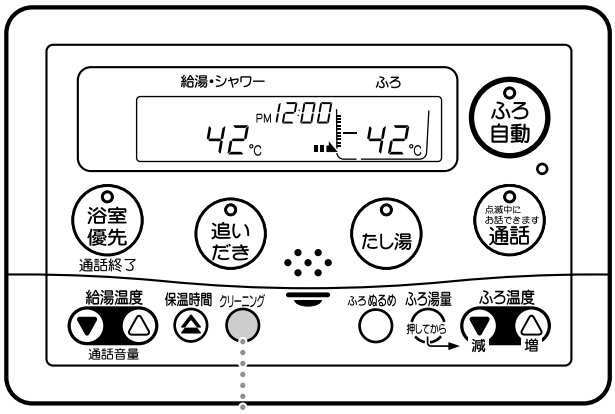


ふろ配管の洗浄（クリーニング）と排水

ふろ配管の洗浄（クリーニング）

ふろ配管にたまった水をきれいな温水と水で排水します。
快適にご使用いただくために、排水後毎回行うことをおすすめします。

浴室リモコン

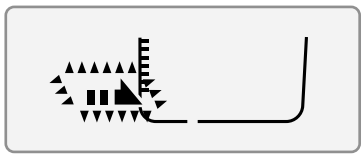


1,2

1 クリーニング ◯ **を押します。**

●表示部が点滅するとともに、約40Lの水で配管洗浄を行います。

表示部



クリーニングを途中でやめるとき

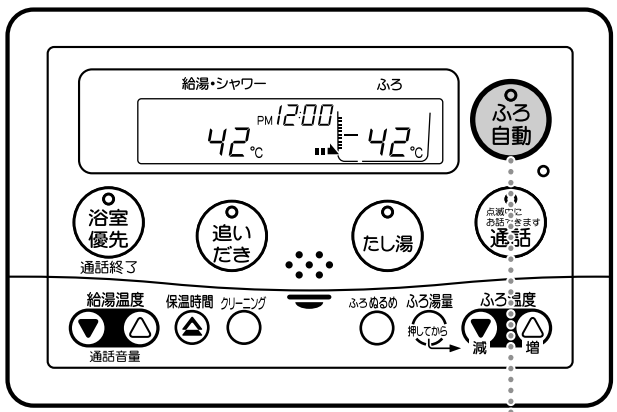
2 **クリーニング中に** クリーニング ◯ **を押します。**

お知らせ

●ふろ配管洗浄（クリーニング）開始時に熱いお湯が出ることがあります。

排水する

浴室リモコン



1

1 **ふろ自動運転の停止を確認します。**

●（ふろ自動）のランプが点灯しているときは、（ふろ自動）を押し、ふろ自動運転を停止します。

2 **浴槽の排水栓を抜き、排水します。**

お知らせ

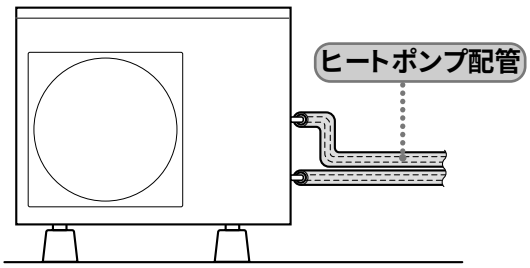
●ふろ自動運転を停止しないで排水したときは、お知らせ表示「C01」を表示します。
（▶▶ 59ページ）

冬期の凍結予防について①

冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
販売店または施工工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

ヒートポンプ配管の凍結予防

凍結しそうな外気温になると、ヒートポンプを自動的に運転してヒートポンプ配管の凍結を予防します。



⚠注 意

●電源を「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。
（▶▶ 49、51ページ）

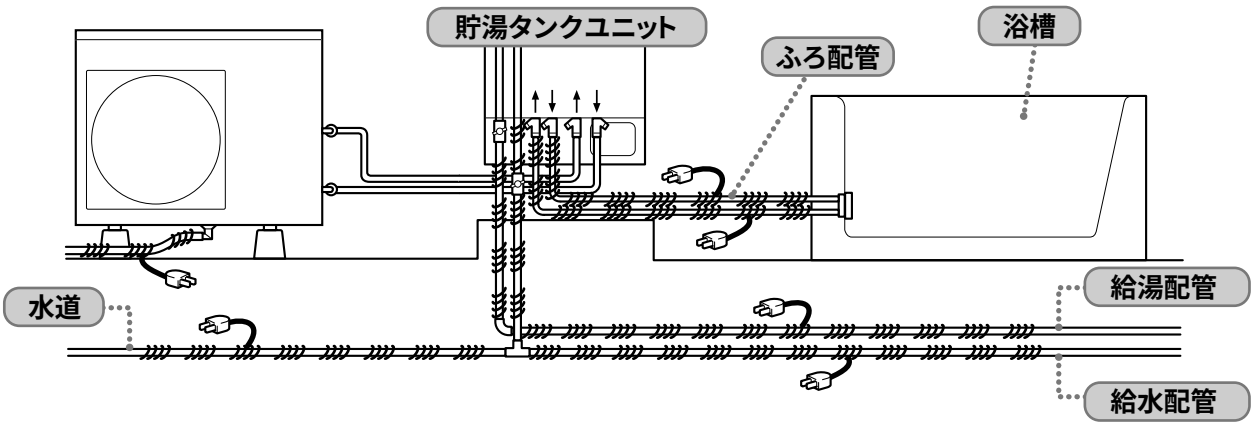
1 電源を入れたままにしておく。

2 自動で凍結予防運転をします。

●外気温が約4℃以下になると、ヒートポンプユニットを運転し、ヒートポンプ配管に水を循環させます。

凍結防止ヒータ（その他配管の凍結予防）

凍結防止ヒータを使用するときは、すべての凍結防止ヒータの電源プラグをコンセントに差込みます。
凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての凍結防止ヒータの電源プラグをコンセントから抜いてください。



お願い

●配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、販売店または施工工事店へご連絡ください。

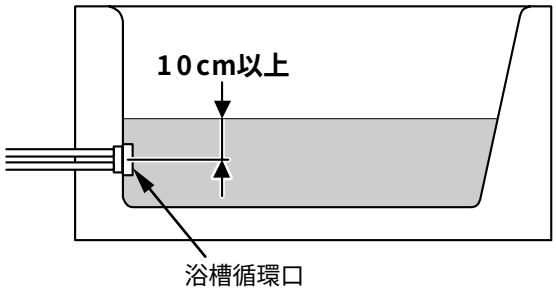
⚠注 意

●配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

冬期の凍結予防について②

ふろ配管の凍結予防（浴槽の残り湯循環）

自動保温または追いだき終了後、凍結しそうな外気温になると、循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。



1 入浴後、浴槽の湯を排水せず残しておく。

●浴槽循環口中心より10cm以上の水位としてください。

2 自動で凍結予防運転をします。

●外気温が約3℃以下になると、自動的に循環ポンプを運転し、ふろ配管に残り湯を循環させます。

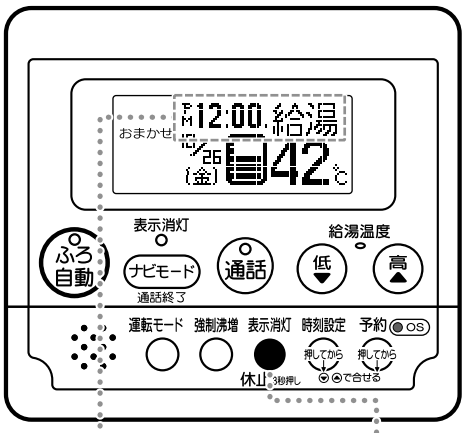
お知らせ

- ●自動保温または追いだき終了後、入浴中でも凍結防止が働き、配管内の冷めた水が浴槽に出ることがあります。
- ●残り湯がある場合は条件になると繰り返し凍結予防運転を行います。
- ●浴槽循環口からボコボコと音がすることがありますが異常ではありません。

数日間お湯を使用しないとき

旅行などで数日間（0日～15日間）お湯を使用しないときは、沸き上げを停止させることができます。

台所リモコン



使用再開日数表示

お買い上げ時の設定 0日（なし）
設定できる範囲 0日～15日（1日刻み）

1, 2, 4

お願い

●1ヵ月以上の休止期間の場合は、長期間お湯を使用しないときの操作を行ってください。（▶▶ 49ページ）

お知らせ

●お湯を使用しない期間を設定する際には、下記の設定例を参考にしてください。

（設定例1）

12月1日に出発し、12月5日に帰宅する4泊5日の旅行の場合。（1日は入浴せず、5日は入浴する。）

4 泊 5 日

出発日（12月1日）に使用再開日数を「4」日後に設定

（設定例2）

使用再開日数を「1」日後に設定した場合、設定したときから翌日の午前2時までの沸き上げが停止します。

⚠注 意

●電源を「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある外気温になると、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニット内の凍結を予防します。
また、貯湯タンク内は凍結防止ヒータで凍結を予防します。

＜台所リモコン＞

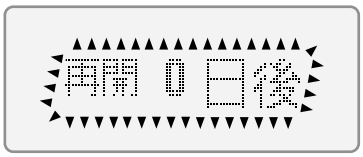
1 休止3秒押し を3秒押します。

＜増設リモコン＞

休止 を押します。

●時刻表示から、使用再開日数表示に変わり、数字が点滅します。

表示部



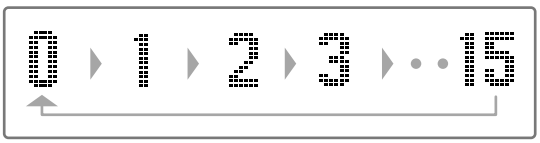
＜台所リモコン＞

2 休止3秒押し を押し、期間を設定します。

＜増設リモコン＞

休止 を押し、期間を設定します。

●押すごとに1日ずつ期間が長くなります。



3 そのまま5秒経過すると設定完了です。

●表示は点滅から点灯に変わります。

休止中を解除する場合

＜台所リモコン＞

4 休止3秒押し をもう一度押します。

＜増設リモコン＞

休止 をもう一度押します。

長期間お湯を使用しないとき①

1ヵ月以上ご使用されないときは、運転を止め貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜きます。排水をするときは、やけどなどの防止のため、湯水混合栓を開き、貯湯タンクユニットのお湯を使いきって（水の状態にして）から行ってください。

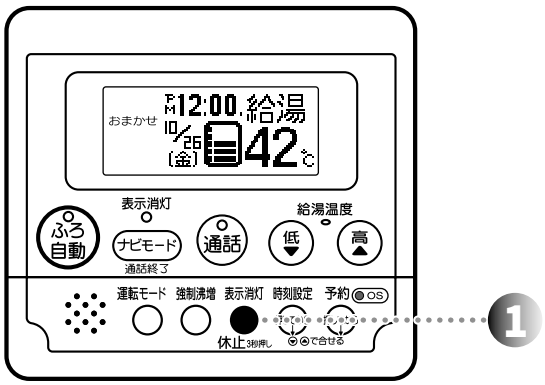
⚠警 告

- **排水時はお湯に手を触れない。**
- **貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。**
  やけどをすることがあります。
- **漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。**
  感電することがあります。

⚠注 意

- **1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする。**
  排水しないと水質が変化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

台所リモコン



電源を「OFF」にします。

1 休止1日の設定にします。

＜台所リモコン＞

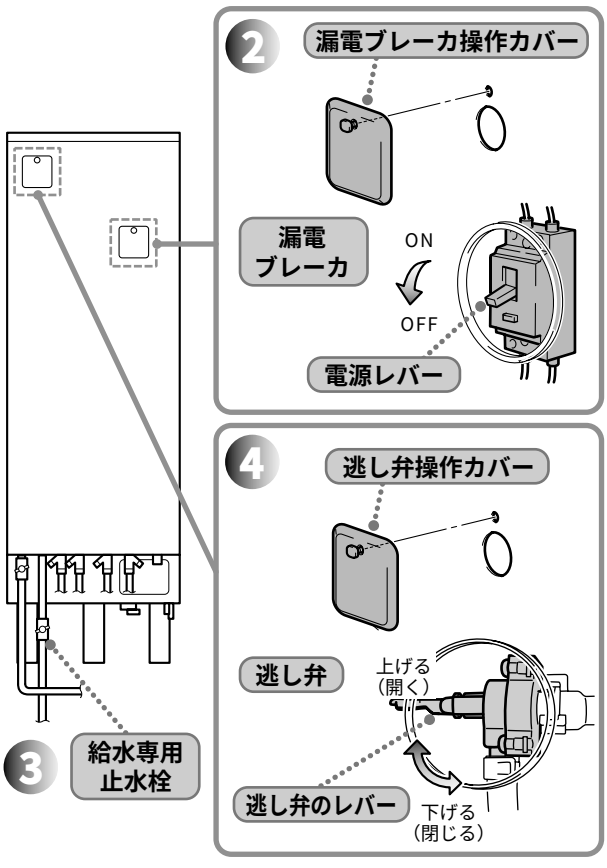
休止3秒押し ● を3秒押します。

＜増設リモコン＞

休止 ● を押します。

●休止1日の設定にします。（▶▶ 48ページ）

貯湯タンクユニット



2 漏電ブレーカを「OFF」にします。

（1）貯湯タンクユニットの漏電ブレーカ操作カバーをはずします。
（2）運転停止を確認し、1分以上経過後に漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。

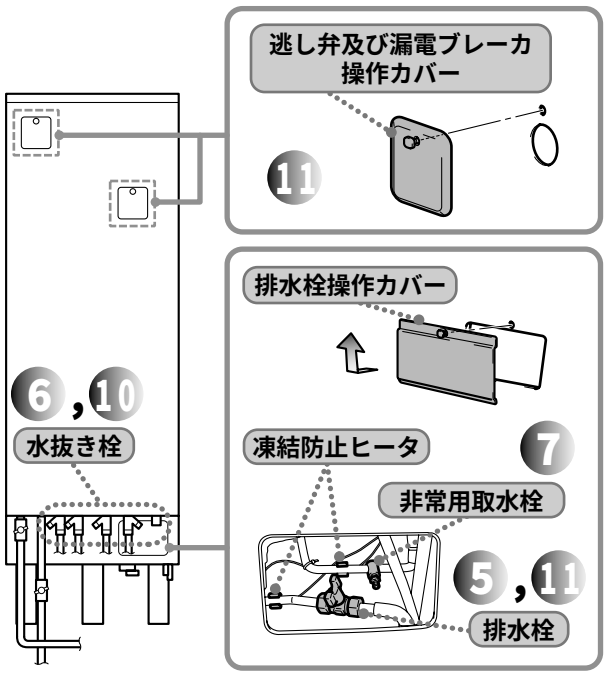
貯湯タンクユニットの水を排水します。

3 給水専用止水栓を閉じます。

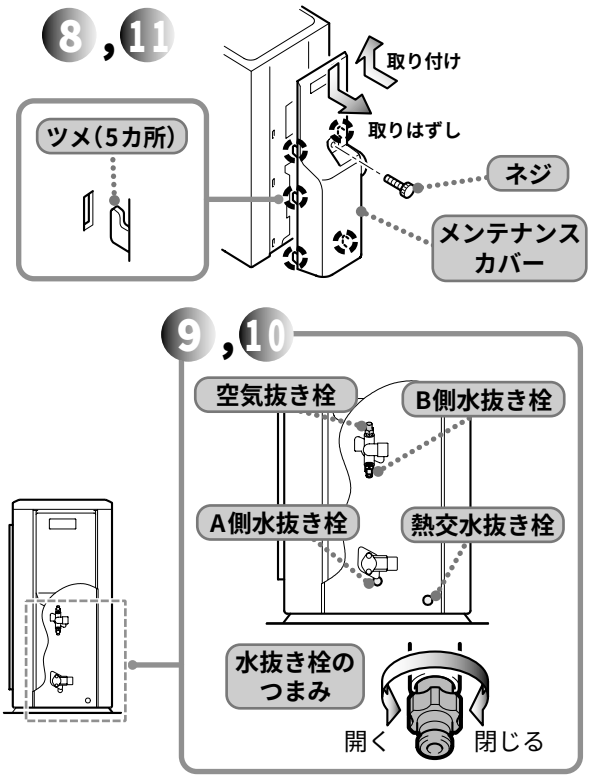
4 逃し弁のレバーを上げます。

（1）貯湯タンクユニットの逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げ、排水の準備をします。

長期間お湯を使用しないとき②



ヒートポンプユニット



お願い

- 再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（▶▶ 12ページ）の手順の準備作業を行ってください。
- 水抜き作業後に逃し弁のレバーが下がっていること、水抜き栓・空気抜き栓・排水栓および非常用取水栓が閉じていることを確認してください。
- 凍結する恐れのある地域でご使用の場合は、販売店（工事店）に連絡し機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

5 排水栓を開きます。

（1）貯湯タンクユニットの排水栓操作カバーをはずします。
- 貯湯タンクの水が抜けるまでに約30分かかります。

6 水抜き栓を開きます。

- 370L1缶式は「5ヵ所」、460L1缶式は「4ヵ所」の水抜き栓を開きます。
- 排水栓から水が十分に抜けたら、水抜き栓を開き貯湯タンクユニット内の配管にたまった水を抜きます。

7 非常用取水栓を開きます。

- 市販のホース（内径8mm）を非常用取水栓に差し込み、取水栓を開きます。（▶▶ 51ページ）

ヒートポンプユニットの水を排水します。

8 メンテナンスカバーをはずします。

（1）メンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下方へスライドさせ、ツメ（5ヵ所）をはずし、カバーをはずします。
- 必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがありますので注意してください。

9 水抜き栓と空気抜き栓を開き排水をします。

（1） 熱交水抜き栓を開きます。
開けたままにしておいてください。
（2） A側およびB側の水抜き栓を開きます。
開けたままにしておいてください。
（3） 空気抜き栓を開きます。
下側のB側水抜き栓からの排水を確認します。
（4） 配管の途中に水抜き栓が設けられているときは、これも開きます。

各栓を閉めカバーを取り付けます。

10 すべての栓を元どおり閉じます。

- 排水が終わったら貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットのすべての水抜き栓・空気抜き栓・排水栓および非常用取水栓を元どおり閉じ、逃し弁のレバーを下げます。

11 すべてのカバーを元どおり取り付けます。

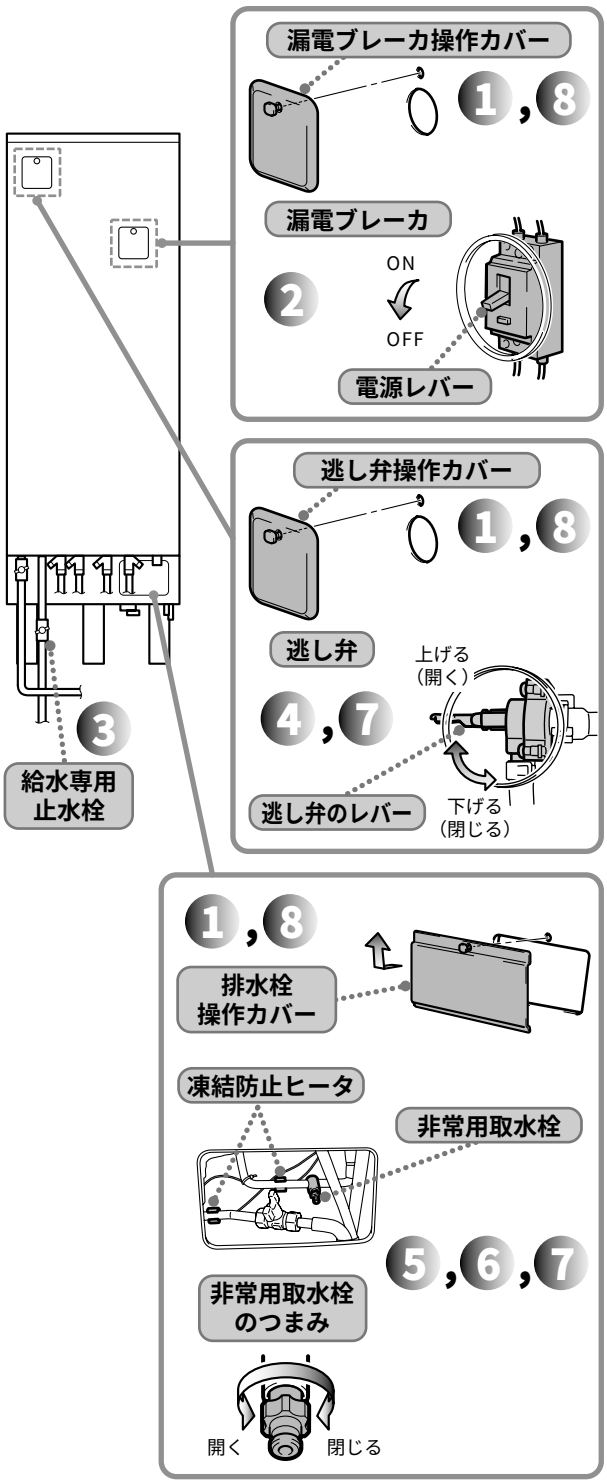
- 貯湯タンクユニットの操作カバー（3ヵ所）とヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを元どおり取り付けます。

非常用取水栓の使い方

万一の地震などの災害時は、貯湯タンクユニット内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

※準備するもの
市販のホース（内径φ8mm、長さ50cm程度）容器（ポリタンク、バケツなど）

貯湯タンクユニット



⚠警告

- **取水時はお湯に手を触れない。**
- **貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。**
  やけどすることがあります。
- **漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。**
  感電することがあります。

⚠注意

- **そのまま飲用に用いない。**
  長期間のご使用により、貯湯タンクユニット内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

1. **貯湯タンクユニットの操作カバー（3ヵ所）を取りはずします。**
2. **漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。**
3. **給水専用止水栓を閉じます。**
4. **逃し弁のレバーを上げます。**
5. **ホース（内径φ8）を非常用取水栓に差し込みます。**
6. **非常用取水栓を開き、容器に受けます。**
7. **取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げます。**
8. **操作カバー（3ヵ所）を元どおり取り付けます。**

お願い

- 再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（▶▶ 12ページ）の手順の準備作業を行ってください。

停電したときや断水・水道工事が行われるとき

停電したとき

この給湯器は、約4時間以内の停電であればお客様の設定した「時刻」、「運転モード」などの設定は記憶しています。ただし、これ以上の長時間停電が続いた場合、下記設定がお買い上げ時の設定に戻りますので、設定をしなおしてください。

停電が10分以上続いた場合

ふろ自動運転が停止します。

- ●停電が10分以上続いた場合、ふろ自動運転は停止します。浴槽の湯が冷めてしまった場合は、浴槽内の湯を全部排水してから、ふろ自動を行ってください。
  停電終了後、再度ふろ自動運転を行ってください。
- ●短時間の停電であれば、停電終了後、ふろ自動運転を再開します。ただし、設定した湯量・湯温にならない場合があります。

停電が4時間以上続いた場合

時刻がリセットされます。

(「－：－－」点滅表示)

- ●停電終了後、時刻を設定してください。

沸き上げが停止します。

- ●時刻がリセットされると、沸き上げは停止します。
  停電終了後、時刻を正確に設定してください。
- ●短時間の停電であれば、停電終了後、沸き上げを再開します。ただし、長時間停電していた場合、設定した湯量まで沸き上げられないことがあります。

湯はり予約が解除されます。

- ●停電終了後、時刻を設定し、再度予約をしてください。

各設定がリセットされます。

- ●停電が4時間以上続いた場合、各設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
  ご使用の状態に合わせて再度設定してください。
  再設定が必要な機能は、右表を参照してください。

再設定が必要な機能	参照ページ
時刻	14ページ
電力サービスモード	15ページ
運転モード	16ページ
沸き上げ温度	17ページ
最低貯湯量	18ページ
表示消灯	27ページ
給湯温度・優先リモコン	22ページ
湯はり湯量と温度	33ページ
ふろ自動運転継続時間	34ページ
オプション設定（電話番号登録を除く）	28ページ

断水・水道工事が行われるとき

断水したときや、近くで水道工事が行われるときは、給水専用止水栓を閉じてください。
工事が終了したら、水道用の水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水専用止水栓を開いてください。

- ●濁った水が貯湯タンクユニット内のストレーナを目詰まりさせ、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- ●断水しているときは、お湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

定期点検（有料）

ヒートポンプ式給湯器を長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行ってください。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて4～6年に1回程度の定期点検（有料）をおすすめします。

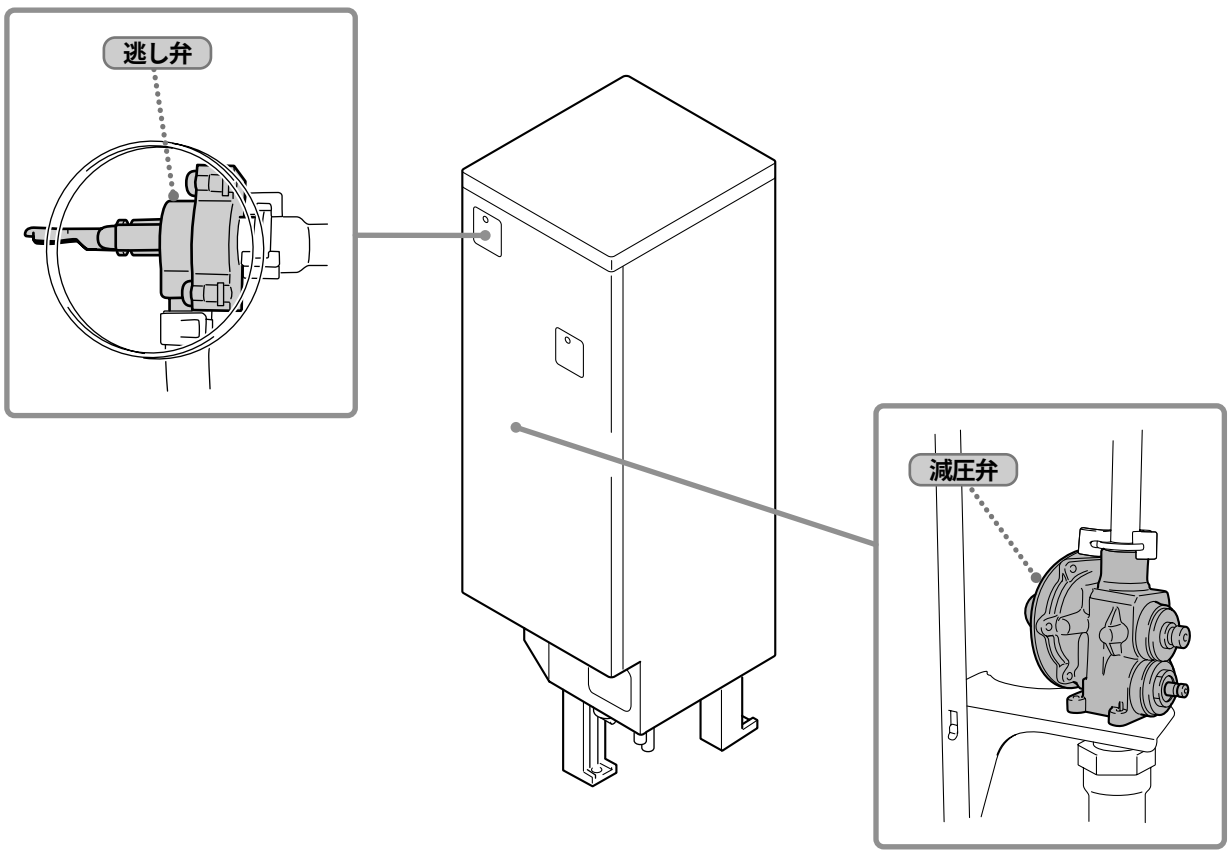
定期点検の主な内容

定期点検については、施工工事店（販売店）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、減圧弁）などの点検。
清掃	貯湯タンクユニット内の清掃。（沈澱物の除去など）

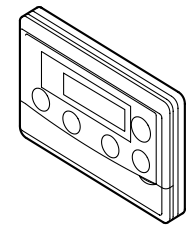
消耗部品の交換

逃し弁、減圧弁は消耗品です。

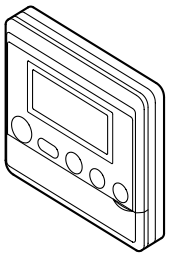


お手入れと日常点検①

日常のお手入れ



浴室リモコン



台所リモコン

リモコンのお手入れ

●リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

お願い

●リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。

●洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

1週間に1回程度のお手入れ

浴槽循環口のお手入れ

●浴槽循環口のカバーは、取りはずして歯ブラシなどでフィルター部のゴミや湯アカ等の汚れを落としてください。

お願い

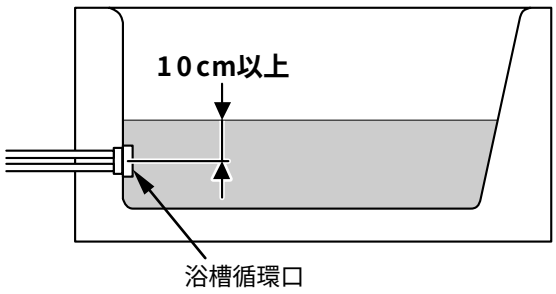
●取り付けがゆるいと、運転中にはずれ故障の原因になります。確実に元どおり取り付けてください。

お知らせ

●浴槽循環口の形状は、メーカによって若干異なります。

お手入れと日常点検②

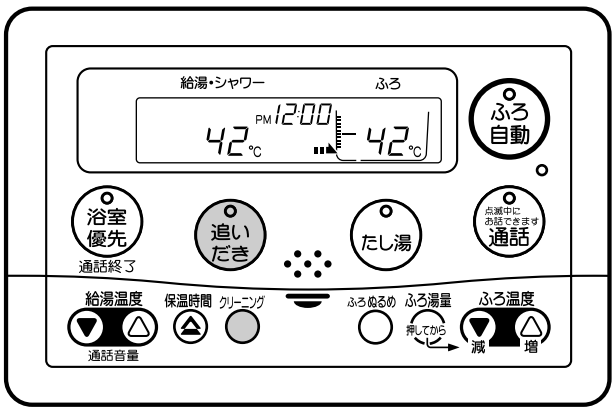
1年に2～3回程度のお手入れ



ふろ配管のお手入れ

（1）前日に運転モードを「満タン」として、貯湯量を確保します。
●16ページ「運転モードの設定」を参照してください。
（2）入浴後、浴槽の湯を排水させず残しておいてください。このとき残り湯が浴槽循環口中心より10cm以上あることを確認してください。
（3）洗浄剤を入れます。
●洗浄剤は市販のジョンソン株式会社製「ジャバ（1つ穴用）」をお使いください。
●取扱いについては、洗浄剤付属の説明書に従ってください。
（4）ふろ配管に水（お湯）を循環させるために追いだきスイッチを押します。
●追いだきランプ、高温表示、矢印表示が点灯し、追いだきが行われます。

浴室リモコン



お知らせ

●残り湯の温度が低い場合や、貯湯量が少ない場合は、追いだきできないことがあります。
詳しくは、40ページ「浴槽の湯温をあげる（追いだき）」を参照してください。

（5）浴槽の水（お湯）を排水します。
（6）ふろ配管にきれいな温水と水を流すためにクリーニングスイッチを押します。
●矢印表示が点滅し、約40Lの水で配管洗浄を行います。

お願い

●（6）の手順を2回行ってください。
詳しくは、45ページ「ふろ配管の洗浄（クリーニング）と排水」を参照してください。

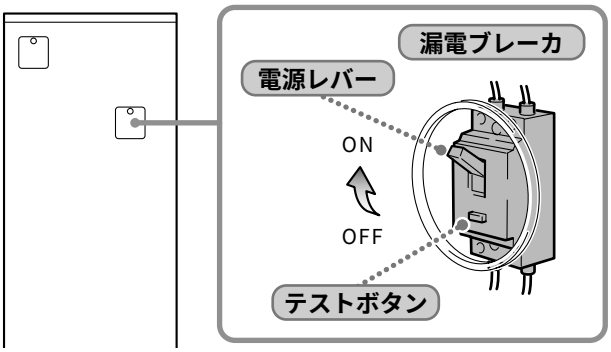
お知らせ

●ふろ配管に水（お湯）を循環させる際に、追いだき機能を使用するため、浴槽の湯温はあがり、貯湯量は減ります。

お手入れと日常点検③

1年に2～3回程度のお手入れ

貯湯タンクユニット



漏電ブレーカの動作点検

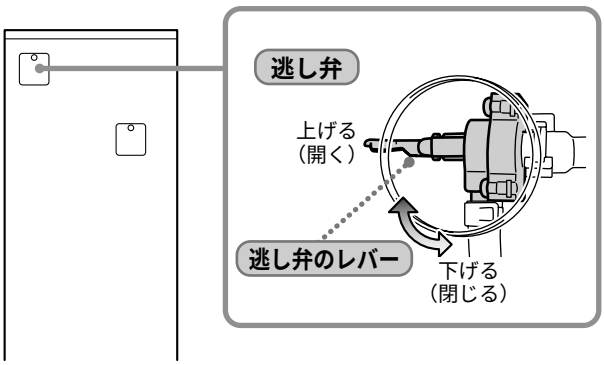
⚠警 告

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。

●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。

（1）AC200V電源供給中に、貯湯タンクユニットの漏電ブレーカのテストボタンを押してください。
●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
（2）点検終了後、電源レバーを「ON」に戻してください。

貯湯タンクユニット



逃し弁の点検

⚠警 告

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

⚠注 意

●逃し弁の点検をする。
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破裂したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

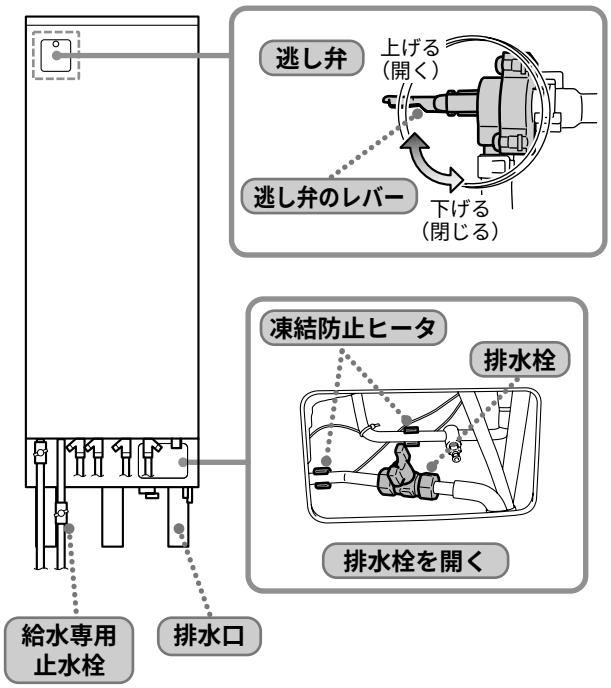
●貯湯タンクユニットの操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

（1）貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを2～3回上下に動かしてください。
●上げたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。
（2）点検終了後、逃し弁のレバーを下げてください。

お手入れと日常点検④

1年に2～3回程度のお手入れ

貯湯タンクユニット



貯湯タンクユニットのお手入れ

⚠警 告

●排水時にはお湯に手を触れない。

●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

（1）給水専用止水栓を閉じ、逃し弁操作カバーと排水栓操作カバーを取りはずしてください。
（2）逃し弁のレバーを上げてください。
（3）排水栓を開いてください。
（4）貯湯タンクユニット内の水（お湯）を1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水栓を閉じてください。
（5）給水専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットが満水になるまで給水してください。
●排水口から水（お湯）が出てきたら満水です。
（6）満水になったら、逃し弁のレバーを下げ、逃し弁操作カバーと排水栓操作カバーを元どおりに取り付けてください。
（7）各湯水混合栓をお湯側にして開いてください。
●エアが抜けたら閉じてください。
水側も同様に行ってください。

1年に1回程度のお手入れ

貯湯タンクユニットのお手入れ

（1）機器内の水をすべて排水してください。
「長期間使用しないとき」（▶▶ 49ページ）
（2）排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返してください。
（3）清掃完了後「はじめてご使用になるとき」の手順の準備作業を行ってください。（▶▶ 12ページ）

故障かなと思ったら①

こんな時は故障ではありません。

○ ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。
外気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。
外気温が低いときは、ヒートポンプ配管および、ヒートポンプ内配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。

○ 深夜時間帯にヒートポンプユニットが動いていない。
運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。

○ 排水口からお湯が出ている。
沸き上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

○ 沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの熱交換器が霜で白くなる。
冬期運転中は熱交換器に霜がつくことがあります。

○ 外気温が低いとき、浴槽循環口からポンプの運転音がする。
凍結予防のため、浴槽の残り湯を循環ポンプで循環させます。（▶▶ 47ページ）

○ リモコンの時刻表示が「－：－－」で点滅する。
停電が原因です。時刻合わせをしてください。（▶▶ 52ページ）

○ ヒートポンプユニットの下部から水が出る。
沸き上げ運転中および沸き上げ停止後しばらくの間は、ヒートポンプユニット下部のドレン口から結露水が出ます。

○ ふろ自動運転停止時と追いだき終了時に浴槽循環口からお湯が出る。
ふろ自動運転が停止したときと、追いだきが終了したときに、ふろ配管の残り湯を排水するため、約3Lのお湯（水）が出ます。

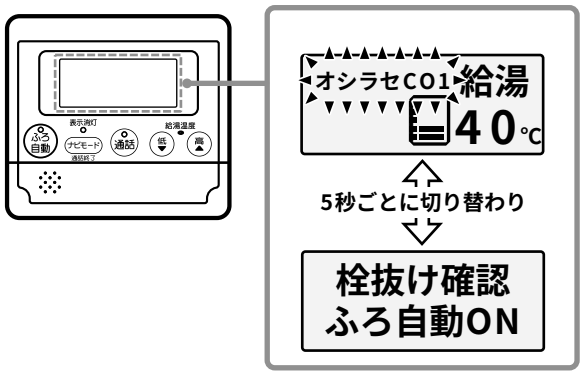
○「沸増し中」が表示されているのに、ヒートポンプユニットが動いていない。
沸き増し運転終了後は、機器保護のため、しばらくの間ヒートポンプユニットを停止状態にします。この間、「沸増し中」を表示することがあります。

故障かなと思ったら②

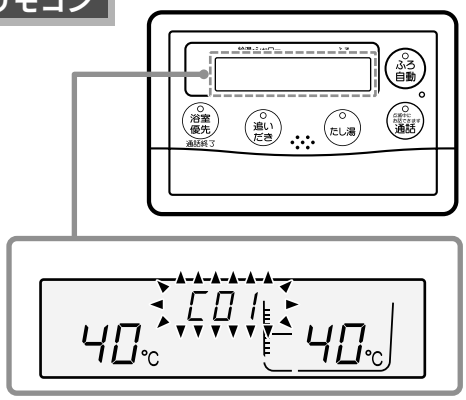
お知らせ表示（故障ではありません）

動作の異常を検知したときふろ自動ランプが点滅し、リモコンに次のように表示し警告音が鳴ってお知らせします。その場合は、次の処置をしてください。（台所リモコンは5秒ごとに表示が切り替わります。）

台所リモコン

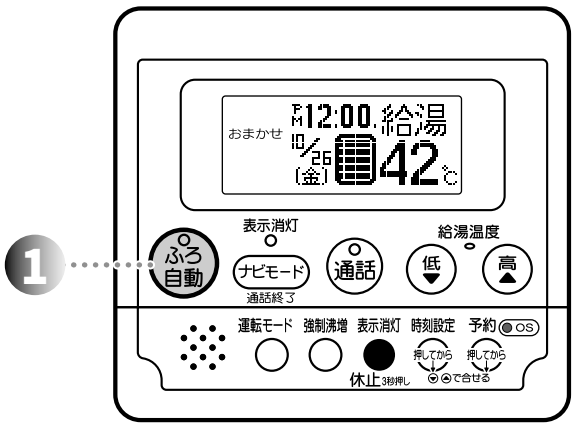


浴室リモコン



表示	原因	処置
CO1	A：浴槽の排水栓を開けたまま、ふろ自動運転をしたとき B：浴槽循環口、ふろ配管がゴミや湯アカ等でつまったとき C：自動保温中（ふろ自動運転継続中）に、浴槽循環口より下まで、お湯を減らしたとき D：自動たし湯中（ふろ自動運転継続中）に、大量のお湯をくみ出したとき E：浴槽循環口より下に、残り湯がある状態で、湯はりをした後に、次回もう一度湯はりをしたとき	A：浴槽の排水栓を閉じてください。 B：浴槽循環口のカバーを掃除してください。ふろ配管の洗浄（クリーニング）をしてください。 C：自動保温中（ふろ自動運転継続中）には、浴槽循環口より下まで、お湯を減らさないでください。 D：自動たし湯中（ふろ自動運転継続中）には、大量のお湯をくみ出さないでください。 E：残り湯がある状態で、湯はりをしないでください。 ※残り湯がある状態で湯はりをすると、あふれることがあります。
CO2	A：浴槽の残り湯が多いまたは残り湯の温度が低すぎて、設定温度に湯はりできないとき	A：浴槽の残り湯を排水してからふろ自動運転をしてください。
CO3	A：貯湯タンクユニット内の貯湯量が少ないのに、ふろ自動運転をしたとき	A：強制沸増を行って、湯量を確保してから行ってください。
CO5	A：湯はり完了時、設定温度より10℃以上低下し、自動保温ができないとき	A：お湯を適量排水してから、追いだきを使用してください。

台所リモコン



お知らせ表示を解除するとき

1 ふろ自動 **を押します。**

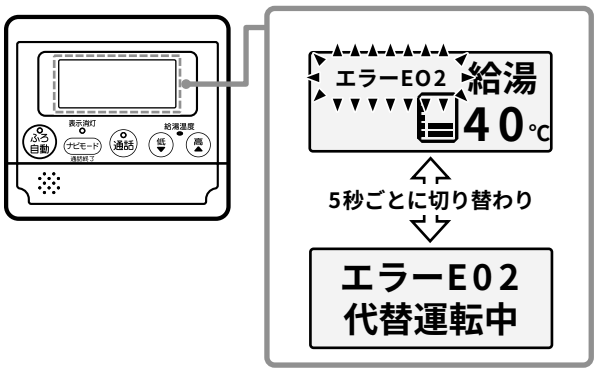
●ふろ自動のランプが消灯し通常表示に戻ります。

故障かなと思ったら③

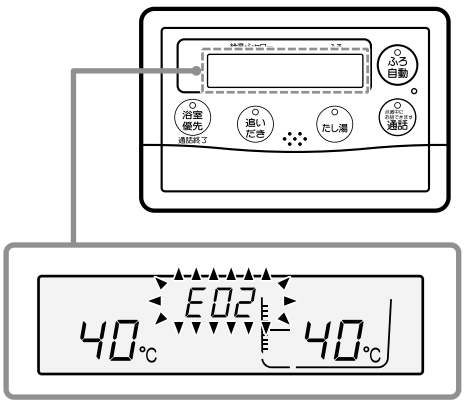
エラー表示

機器に異常が発生したとき、リモコンに次のように表示し、警告音が鳴って異常をお知らせします。（台所リモコンは約5秒ごとに表示が切り替わります。）

台所リモコン



浴室リモコン



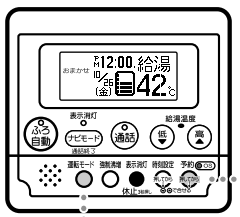
●「エラー＊＊＊TEL＊＊＊」や「エラー＊＊＊修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。

●「代替運転中」や「湯はり停止中」などと表示されたときは、機器は作動しています。（一部機能が使えない場合があります。）

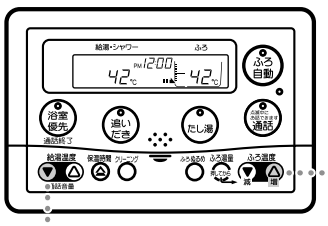
表　示	原　因	処　置
E02～E47	貯湯タンクユニット関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
H03～H32	ヒートポンプユニット関係の故障	
E37	別売品の漏水センサ作動	貯湯タンクユニットの給水専用止水栓を閉じ、お買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

（断水でE28を表示することがあります。断水が解消したら、エラー表示を解除して再度運転を開始してください。）

台所リモコン



浴室リモコン



エラー表示を解除するとき

1 <台所リモコン>

運転モード ◯ と 予約 押してから を同時に5秒以上押します。

●エラー表示が消え通常表示に戻ります。

<浴室リモコン>

給湯温度 通話音量 と ふろ温度 増 を同時に5秒以上押します。

●エラー表示が消え通常表示に戻ります。

故障かなと思ったら④

表示がない場合

症 状	原 因	処 置
リモコンの表示部が点灯しない（電源が入らない）	・AC200V電源ブレーカが「OFF」になっている	電源ブレーカを「ON」にしてください。
	・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている	漏電ブレーカを「ON」にしてください。 再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまで待ってください。
リモコンの表示が消えている	・表示が自動消灯モードになっている	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。 常時点灯させるには、表示消灯スイッチを押します。（▶▶27ページ）
リモコンの表示が暗い	・リモコンの輝度設定が「暗」になっている	リモコンの輝度設定を「明」にしてください。（▶▶28ページ）
音声案内をしない 音声案内が小さい	・リモコン音量が「無し」や「小」になっている	リモコン音量を「中」「大」などに設定してください。（▶▶28ページ）
リモコンの操作音が出ない	・リモコン操作音の設定が「無し」 になっている	リモコン操作音設定を「有り」にしてください。（▶▶28ページ）
ふろ自動を受け付けない	・貯湯量表示が消え「残湯少」が点灯または点滅している	強制沸増を行って、湯量を確保してから行ってください。（▶▶19ページ）
給湯温度が変更できない	・リモコンに優先権がない	浴室リモコンの浴室優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（▶▶22ページ）
お湯が出ない お湯の出が悪い	・給水専用止水栓が閉じている	給水専用止水栓を開いてください。
	・断水している／給水圧が低い	水道局へ問い合せてください。
	・貯湯タンクユニット内のストレーナにゴミがつまっている	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・配管が凍結している	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまで待ってください。
お湯がぬるい お湯が足りない	・時計表示が点滅している	時刻設定をしてください。（▶▶14ページ）
	・台所リモコンに「再開○日後」が表示している	休止スイッチを押し、沸き上げ停止を取消してください。（▶▶48ページ）
	・沸き上げ温度設定が低い	「深夜のみ」モードで、沸き上げ温度が「控えめ」の場合は「湯多め」にしてください。（▶▶17ページ）
	・沸き上げ運転時以外でも、排水口から冷めたお湯（水）がでている	逃し弁の点検をしてください。（▶▶56ページ） 止まらない場合は、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・いつもに比べてお湯をたくさん使用した	強制沸増を行ってください。（▶▶19ページ）

故障かなと思ったら⑤

表示がない場合

症　状	原　因	処　置
浴槽のお湯があつい	・湯はり温度の設定が高い	湯はり温度の設定を低くしてください。（▶▶33ページ） またはふろぬるめを使用してください。（▶▶41ページ）
	・追いだき中	追いだきを中止してください。（▶▶40ページ）
浴槽のお湯がぬるい	・湯はり湯温の設定が低い	湯はり温度の設定を高くしてください。（▶▶33ページ） または追いだきを使用してください。（▶▶40ページ）
	・「保温中」表示が点滅している	・おまかせ／満タンモードのとき 必要な貯湯量が確保されると自動保温を再開します。 ・深夜のみモードのとき 強制沸増を行ってください。（▶▶19ページ）
浴槽のお湯が少ない	・湯はり湯量の設定が少ない	湯はり湯量の設定を多くしてください。（▶▶33ページ） またはたし湯をしてください。（▶▶42ページ）
浴槽のお湯が多い	・湯はり湯量の設定が多い	湯はり湯量の設定を少なくしてください。（▶▶33ページ） または排水してください。
	・浴槽に残り湯がある状態で湯はりをした	残り湯を排水してから湯はりをするようにしてください。
追いだきができない	・貯湯量表示が消え、「残湯少」が点滅または点灯している	強制沸増を行って、湯量を確保してから使用してください。（▶▶19ページ）
	・「深夜のみ」モードで深夜以外の時間帯	
	・追いだきスイッチのランプが点滅している	追いだきに必要な貯湯量がないため、追いだきを一時停止し自動沸き増しを行います。必要な貯湯量が確保されると追いだきを再開します。
	・湯はり中、たし湯中、ふろぬるめ中、クリーニング中	湯はり等動作が完了してから使用してください。
貯湯量表示の減り方が早い	・外泊などで1日以上お湯を使用していない	貯えられたお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。
	・過去1週間のお湯の使用量が減少した	過去1週間のお湯の使用量にあわせて沸き上げ温度・湯量が変化しますので、表示の減り方は日によって変わります。
浴槽や洗面器具に青いすじがつく	**・水中に含まれる銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。人体には害はありません。**	**浴槽用洗剤をスポンジなどにつけてこすり、洗い流してください。 こまめに掃除することで付きにくくなります。 汚れが落ちない場合は、アルカリ系洗剤等をご使用ください。**

仕様

[システム]

型式名	SBP-371KMZH	SBP-463KMZH
適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御対応）	
定格電圧	単相　AC200V　50/60Hz	
最大電流	16A	18A
沸き上げ温度	約65～90℃	
仕向地	次世代省エネ基準III地域以南（※1）	

[貯湯タンクユニット]

型式名		SB-371KMZH	SB-463KMZH
種類		屋内・屋外兼用型	屋外型
タンク容量		370L	460L
最大使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）	
外形寸法（高さ×幅×奥行）		1,900mm×630mm×730mm	1,890mm×720mm×800mm
質量（製品質量/満水時質量）		71kg／441kg	88kg／548kg
消費電力	風呂保温	80／105W（50／60Hz）：循環ポンプ	
	凍結防止ヒータ	57W（ただし冬期のみ作動）	
	制御用	12W（リモコン消灯時5W）	
貯湯機能		おまかせ・満タン・深夜のみ	
風呂給湯機能		自動湯はり、自動保温、自動たし湯、追いだき、たし湯、さし水	

[ヒートポンプユニット]

型式名	SP-452A	SP-603A
外形寸法（高さ×幅×奥行）	650mm×820mm（カバー部+80mm）×300mm	690mm×820mm（カバー部+80mm）×300mm
質量	53kg	58kg
中間期（定格）加熱能力　※3 ※4	4.5kW	6.0kW
中間期（定格）消費電力　※4	1.023kW	1.364kW
中間期（定格）COP	4.4	
夏期加熱能力／消費電力　※3 ※5	4.5kW／0.989kW	
冬期加熱能力／消費電力　※3 ※6	4.5kW／1.16kW	6.0kW／1.62kW
冬期高温加熱能力　※2 ※3 ※7	4.5kW	6.0kW
冬期高温加熱消費電力　※2 ※7	1.50kW	2.00kW
運転音　※8	38dB	40dB
冷媒名（封入量）	CO_2（1.125kg）	CO_2（1.270kg）

※1 次世代省エネ基準III地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県など
※2 低外気温時は、加熱能力が低下することがあります。
※3 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※4 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※5 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※6 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※8 中間期条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）

保証とアフターサービス

保証書について

●この商品は保証書がついております。

●保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

サービスが必要なとき

●故障その他でサービスが必要なときは、お買上げの施工工事店または販売店に御連絡ください。その際、つぎのことにご注意ください。

（1）型式名（保証書に記入してあります。）と施工時期をお知らせください。
（2）故障の状況や必要なサービスの内容をできるだけ詳しくお知らせください。
（3）修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

部品保有期間

●補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後１０年です。

●性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

●当社は販売店からの注文により、補修用部品を販売店に供給します。

⚠注 意

●製品の移設は販売店または工事店に依頼する。
製品を移設する場合は、専門の技術が必要です。必ずお買い求めの販売店または、工事店へお問い合わせください。

●ご自分で製品の破棄を行わない。
製品を長年お使いになった後、破棄される場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

MEMO

MEMO

点検依頼連絡先

店　名

連絡先　ＴＥＬ

工事店に必ず記入してもらってください。

販　売　四電エナジーサービス株式会社

フリーダイヤル 0120-126-459（いーふろ　しこく）

本　　店	〒760-0050	高松市亀井町1-3（鹿島四国支店ビル3F）	(087)835-0551
徳島支店	〒770-0862	徳島市城東町2丁目123番地	(088)653-5881
高知支店	〒780-0870	高知市本町4丁目1-16（高知電気ビル本館3F）	(088)824-3802
愛媛支店	〒790-0951	松山市天山1丁目2-26（松山第3電気ビル）	(089)945-6227
新居浜支店	〒792-0864	新居浜市東雲町2-12-46	(0897)33-0671
香川支店	〒761-8075	高松市多肥下町434-1	(087)814-9155
多度津支店	〒764-0017	香川県仲多度郡多度津町西港町90番地1	(0877)32-2121

製　造　四変テック株式会社

フリーダイヤル 0120-4591-26（しこくいちのふろ）

〒764-8507　香川県仲多度郡多度津町桜川2丁目1-97　(0877)33-1212（代）

P46KMZHA-0712
148017-7110 [2007.11]
225WA1923-00